

ご注文の際、プライス・コードもご記入下さい。

プライス・コード{a ¥ 1 6 9 0 / A ¥ 1 8 9 0 / B ¥ 2 0 9 0 / C ¥ 2 2 5 0 / D ¥ 2 4 9 0}

(表示価格は税抜き) 別途消費税が加算されます

www.tambourine-japan.com email: song@tambourine-japan.com

注文方法サイト: <http://www.oct-net.ne.jp/tambouri/order.htm>

Scotland(P4) USA{Old Time 他}(P24) CANADA{Trad 他}(P29)

[CD/ISLE OF MAN]

*BARRULE:Barrule

C

(副題“Music From The Isle Of Man”。収録時 19 歳の Tomas Callister {フィドル、バンジョー}, Jamie Smith {ヴォーカル、アコーディオン、ギター}, Adam Rhodes {ブラス、ヴォーカル} の若者トリオはマン島のトラッドに果敢に挑む。Jamie の毅然として悠々としたシンギングの素晴らしさもさることながら、フィドルとアコーディオンの演奏の緻密さと大胆さ、その二台をメインに据えた演奏の構成の見事さは天下一品。2012 作。Wardfell)

[CD/WALES]

*GWYNETH GLYN:Tro

C

(P38 ページのブックレット付きハードカバー装丁の CD。突如として話題のアルバムとなったウェールズの女性フォーク・シンガーの Gwyneth Glyn の新作。主にウェールズ語だが、ウェールズ語と英語でうたわれる唄は、その違和感は全くない。それは彼女の音楽のルーツ回帰的な方向性と、何よりも心の奥からわき上がってくるような唄の不思議な魔力から来るものだろう。とにかく唄も音楽も深く美しい。この完璧さを超えた完璧さは June Tabor の音楽の世界に近い。“She Moved Through The Fair”をウェールズ語で替え歌にした“Ffair”は一番のハイライト曲だが、プロデューサーの Dylan Fowler の細やかなギター他のプレイが冴えるなか、Karen Dalton の曲“Katie Cruel”をイメージしたという Rowan Rheingans のバンジョーの響きはアパラチア民謡風な枯れた響きを発して、味わい深い。w. Jordan Price Williams, Mark O' Connor, Dan Lawrence, Gillian Stevens。スペシャルゲスト: Seckou Keita。信じられないほど素晴らしい。2017 作。Bendigedig)

*ALLAN YN Y FAN:NEWID

A

(Catrin O' Neill なる女性トラッド・シンガーとフィドル弾きの Alan Cooper を新メンバーに迎えた新生 Allan Yn Y Fan の新作。Allan Yn Y Fan 自体の音楽は、70 年代のブリティッシュ・トラッド風な土臭いトラッドで昨今のハイセンスなケルティックなトラッドとは一線を画した大御所トラッドの風合いで、Catrin の庭の花々にて優雅なシンギングにお似合いのサウンドで、Catrin のシンギングも素敵に生えている。本作でのラインナップは三姫三太郎の六人組。2016 作。Steam Pie)

*JULIE MURPHY:Every Bird That Flies

A

(元 Fernhill のヴォーカルの J. Murphy の四枚目。ウェールズのコントリーサイドの自宅でピアノの引き語りで作曲をしたという自作曲 6 曲と伝統歌 3 曲の計 9 曲。ピアノの引き語りを中心に制作

された本作は、そのまま自宅で弾き語りしているような落ち着いた
の中で、Julie の一筋の線を描くような、あるいは清い水の流れの
ようなシンギングは清々しく、深く、美しい。2016 作。Shells In
The Ocean)

- *FERNHILL:Llatai (1998 作。Beautiful Jo) B
- *FERNHILL:Whilia (2000 作。Beautiful Jo) B
- *GWENAN GIBBARD:Y Gorwel Porffor A
(ウェールズ語を話す家庭で育ったという全曲ウェールズ語によ
る Gwenan Gibbard の新作はハープの弾き語りによる 6 曲収録 CD。
6 曲中 3 曲が伝統曲だが、彼女のハープの弾き語りは、伝統音楽
一途というよりは、伝統音楽が子守歌のように真に身近な音楽と
して身につけていて、ウェールズ語の優しい響きのシンギングも
ハープの音色の真に優しい。すっかり春の花園で夢見気分保証。
2015 作。Sain)
- *GWENAN GIBBARD:Y Gwenith Gwynnaf B
(ハープの小気味よい響きと Gwenan の美しく澄んだシンギングが作り出
す世界は彼女独特な幽玄の世界。w. Maartin Allcock, Huw Roberts
, Stephen Rees, Dafydd Roberts, Deian Elfryn. 2006 作。Sain)
- *FFYNNON:Adar Gwyltton (二枚目。2006 作。Taith) B
- *CARREG LAFAR:Ysbryd y Werin (1995 作。Sain) B
- *CALENNIG:Trade Winds - Gwyntoedo Mor Hafren B
(副題"Stories Of The Seven Sea"。1994 作。Sain)
- *NANSI RICHARDS:Brenhines y Delyn B
(副題。"Queen Of The Welsh Harp"。歴史的な録音集。44 トラック。
Sain)
- *LLIO RHYDDERCH:Malangell (2000 作。Fflach:tradd)
- *MABON:OK Pewter B
(アコ奏者の Jamie Smith のアコギター - 格のアコースティック&エレクトリック混在の抜
群のワルのケルティック・ミュージック。Jamie のアコの演奏はエレキッシュな演奏も聴
き物だが、数少ないスローな曲での泣き節も聴きもの。体当たりの演
奏でほとぼしる情感が凄い魅力。Mabon)
- *SIAN JAMES:Gweini Tymor (96 作。Sain) B
- *SIAN JAMES:Di-Gwsq (97 作。Sain) B
- *LLEUWEN:Penmon B
(ウェールズの異色の SSW、Lleuwen 嬢の 2007 作。ウェールズ語の唄による夢心
地な唄&音楽世界を創作。w. Huw Warren, Thad Kelly, etc. 2007 作。
Gwymon)
- *LINDA GRIFFITH:Storm Nos B
(ウェールズはモンゴメリーシャーのトラッド・シンガーの本作は、全曲ウェールズ語で、ウェ
ールズの伝統歌への愛情や家族への愛情が、Linda のたおやかなシンギ
ングで心に深く響くもの。Linda の二人の愛娘の Lisa Angharad と
Gwenno Elan Healy が美しいハーモニを添えている。w. Gwenan
Gibbard, Chris Leslie, Maartin Allcock, etc. 2009 作。Sain)
- *SILD:Tro A
(エストニア人でヴォーカルと Hiiu-Kandle というエストニアのフォドル系楽器奏者
の Silje Ilves とギター&ハーモニカ・オルガンの Martin Leamon のウェールズで活

動する二人組の Sild の本作は 2 枚目。ウェールズ とエストニアの伝統歌だが、Sille の野趣な味わいを秘めた軽快で美しいシンギング とスクェットは絶品。トラッド・ファン必聴。2008 作。Fflach)

- *THE DEVIL'S VIOLIN a
(副題“Roma Gypsy Music And Tales From Wales And Beyond”。アコ、ヴァイオリン、チェロによるマケドニア〜ルーマニア〜ロシアのジプシー音楽とジプシー音楽を伴奏にした北ウェールズに伝わるジプシーの二つの物語。この二つの物語は Daniel Morden's Award という賞受賞の本“Dark Tales From The Wood”からの物語。不思議なお話は Daniel Morden 本人。2007 作。Taith)
- *BRAGOD:Kaingk B
(ウェールズの 14~19 世紀の詩と音楽、イギリスの 6~7 世紀の詩集“The Book of Aneirin”からの歌と音楽そしてウェールズの 12 世紀のドラマ。Mary-Anne Roberts というシンガーの喉歌化する呪術的ヴォーカルは異空間へと運ぶしウェールズのヴァイオリン系古楽器の Crwth {クルス} とリラの伴奏と演奏は土俗的であり「異空間」度を増す。アラブ やアジア的な匂いを醸す古きウェールズのケルト音楽だ。P106 の解説本付。CD-ROM 機能付でシンガーと奏者の生演奏が拝める。2004 作。Bragod)
- *ROBIN JAMES-JONES:Telynegion B
(Nanci Richards 等にハープを教わったというウェルシュ・ハープ奏者によるウェールズのトラッドからアイルランド、スコットランド、アメリカのトラッドそしてガーシュインの“Summertime”まで。フォーク系ハープ奏者の中では装飾の多いいわゆる一般にイメージされるハープ音楽風。ハープによる美しいケルト音楽・ファン向き。全 15 曲夢心地。2004 作。Sain)
- *ROBIN HUW BOWEN:Hen Aelwyd - Old Hearth B
(副題“Welsh Music On The Triple Harp To Fire The Soul”。ウェールズのトリプル・ハープのソロ。1999 作。Sain)
- *WILD WELSH WOMEN:Death Of The King's Canary B
(5 人組の「野性ウェールズ女達」は Tamzin&Rozi の入魂のヴォーカルをメインに据えたトラッド・バンド。音楽性はエレガントなのから荒武者フォーク・ロックまで激流的。気概溢れる二人の女性のシンギングの見事さに言葉なし。2003 作。Airheart)
- *ARFON GWILYM:Proc i'r Tan B
(この中年トラッド・シンガーは素晴らしい。Arfon の温厚なシンギングとワットなウェールズ語の響き、かつ主にハープの伴奏によるシンギングはピルを片手に鼓舞するような朗々としたシンギングをも柔和というか優雅な芳香を放つ。ウェールズの伝承歌を愛する Afron の極上のトラッド・アルバム。英語解説&曲目解説付。2003 作。Sain)
- *PHIL TANNER:The Gower Nightingale D
(副題“Ballads, Songs&Mouth Music from South Glamorgan recorded in the 1930s&40s”。1930 年代に見出された南ウェールズ出身の偉大なトラッド・シンガーの P. Tanner の 1937 年の BBC 録音曲等を含む貴重録音集。2003 作。Veteran)
- *BOB DELYN a'r EBILLION:Dore B
(耽美的と言うべきか、女性シンガーの Twm Morys の美味シンギングやハープ伴奏の素朴な哀愁のフォークから入魂のフォーク・ロックそしてバルカンアラブ?)

風味をも取り込んだ暗黒ロックまでレゾの広さは北欧トラッド・バンドをホフッさせる。2003 作。Sain)

- *RAG FOUNDATION:Minka ¥1000
(特価。Rag Foundation は Neil Woollard {ウァーガル}, Kate Woollard {ウァーガル、フィドル}, Richard Cowell {ギター} のトリオ。w. Nigel Eaton, Julie Murphy, Geri Rhys Matthews, Andy Cutting。唄は英語とウェールズ語。99 作。Fflach)
- *CERI RHYS MATTHEWS・JONATHAN SHORLAND:Pibau C
(副題“Welsh Bagpipe Music”。Ceri は Farnhill。99 作。Fflach)
- *SIAN PHILLIPS:Gramundus C
(副題“Traditional Welsh Fiddle Music”。98 作。Fflach)
- *OGAM:O Gam I Gam A
(女性 2 名、男性 3 名の 5 人組ウェルシュ・トラッド・グループ。11 曲中 8 曲がトラッド曲。彼等のトラッドへのアプローチの仕方は、クワック寄り。2000 作。Sain)

[CD/CORNWALL]

- *NIGEL (An Gwer) ROBERTS & FRIENDS:Just Is A
(Nigel Roberts {通称 An Gwer} は自称「ケルトの吟遊詩人」。彼自身はダブリン、ハーブ、フィドル、マンドリン、バウロン等を演奏し、飄々とストーリー性のある唄をうたう。印象はずばり、Robin Williamson&His Merry Band。初めて聴いたとき、彼の自在錯誤の音楽に「今時、うそでしょう！」というのが正直な感想。彼の仲間との音楽 [楽器はハーディ・ギター、スモール・パイプス、ホイッスル、リコーダー、バングヨー、ベース、ジャンベ、トランペット、クラリネット等+女性ウァーガル] は、まるで中世の広場でうたい、踊り、演奏する楽士。70 年代に帰った気分。本作は薄型ケースの CDR 製で、ジャケットは簡素。裏ジャケットはない。2004 年と 2006 年の録音。An Gwer)

[CD/ENGLAND/SCOTLAND]

- *MICK GROVES:Fellow Journeyman B
(副題“The Songs of Ewan MacColl”。20 曲中 16 曲が Ewan {Iwan} MacColl の曲。白髪でウァーレン・フォーク・シンガーの風貌の M. Groves による朗々たるフォーク・ソング。Produced by Phil Beer。2004 作。EXEG1)

[LP/SCOTLAND]

- *DICK GAUGHAN:Handful Of Earth C
(不朽の名盤。LP。81/2009 作。オランダ 6spices)

[DVD/SCOTLAND] PAL

※パソコン又は PAL 方式再生可能 DVDプレーヤー/で再生可能

- *BARBARA DICKSON:Che Faro D
(1986 年の Barbara Dickson のテレビ番組の DVD。ライブを中心に子ども頃から 80 年代までの音楽人生を語るドキュメンタリー・フィルム。ライブは “The Caravan Song”, “Boulder To Birmingham”, MacCrimmon’s Lament” [素晴らしい無伴奏シンキング!], “Easy Terms”, “Nana” [スペインの子守唄], “Che Faro”。この頃、フォーク・シンガーとしてスター街道まっしぐらだった彼女はクワックに挑戦。その練習なども。50 分。

2012 作。BARB(DVD)

- *DONNIE MUNRO:Field Of The Young D
(CD“Field of the Young”の映像版に二つのコンサート・ライヴ映像が収録。約2時間。2004 作。Hypertension)

[DVD/SCOTLAND] NTSC all regions

※国内製 DVDプレイヤーで再生可能

- *IVAN DREVER&DUNCAN CHISHOLM:A Long December Night ¥1500
(Duncan の自宅で収録された本作は北スコットランドの12月の長い夜、静かだが、二人のスピリットに充ちた唄と音楽がとめどなく流れる。スコットランド・ファン宝物。2004 作。Highlander Music)

[CD+DVD/SCOTLAND]

※国内製 DVDプレイヤーで再生可能

- *ALY BAIN:Aly Meets The Cajuns ¥2880
(DVDケース入り DVD+CDセット。1988 年、スコットランドのテレビ番組で放送された Aly Bain がアメリカのケイジャンとザ・デイクのミュージシャンと共演したドキュメンタリー・フィルム完全版+CD。CD はリマスターで再発。共演者は Dewey Balfa, Boozoo Chavis, Michael Doucet, Marc Savoy, Ann Savoy, Queen Ida, D L Menard, Hary LaFleur, Wayne Toups。DVD は 51 分、CD は 55 分。この番組から Transatlantic Sessions シリーズへと発展する。1988/2012 作。Whirlie)
- *ALISON KINNAIRD:The Silver String D
(CD と DVD のセット。本作を聴いて驚くのは金属弦とガット弦の小型ハープでスコットランドの古いパイプ・チューンやラメント等を当時のハープの音色を再現するかのよう古風かつ優美かつ気品ある音色を創造していること。もうそれは魂の響きとしか言いようもないハープの音色。ゲスト: Christine Primrose, Ann&Charlie Heymann, Robin Morton。DVD はガラス工芸品の製作フィルムとライヴ演奏2曲とインタビュー等。2004 作。Temple)

[CD/SCOTLAND]

- *JULIE FOWLIS:Alterum C
(直前入荷。待ちに待った Julie の三年振りの新作。第一印象は大きくなったなあ。これまで一心にスコットランドのゲール語の唄をピュアにうたうことに集中してきた彼女だが、その基礎の上に、ゲール語の唄のみならず二曲の英語の唄{Anne Briggs の“Go Your Way”と Archie Fisher の“Windward Away”}を含めて、新たなスコティッシュ・ミュージックの創作に挑んだ意欲作。シンギングは表現力を増しているし、音楽も今までになくケルティックに優美でふくよか。伴奏者は前作と同じ Eamon Doorley, Duncan Chisholm, Donald Shaw, Micheal McGoldrick 等だが、前作とは見違えるほど、すべてがケルティックにハイブリッド。ゲスト: Mary Chapin Carpenter, Muireann Nic Amhlaoidh, Donal Lunny。2017 作。Machair)
- *ARTHUR CORMACK:Buanas B

(スコットランドのゲール語のトラッドの世界に引き込んでくれたシンガーの一人の Arthur Cormac の 28 年振りの新作ソロだ。近年彼は様々な文化活動の指導者、推進者としての活動で忙しい。もう新作は出さないのかな、と思っていたら、ご本人から「新作出すよ」のメール。待ちに待った A. Cormac の新作は、この声、この声、彼の持ち味であるやや高音の柔らかなシンギングは全然変わってはいない。男性シンガーなのに、女性シンガーのような快い響きの声で、ゲール語の唄の世界へと誘う。それは彼が暮らすスカイ島 [一度家族で彼の家に遊びに行く計画を立てたことがあって、スカイ島の地図とにらめっこしたことがあります。懐かしい思い出] の美しい景色を眺めてうっとりするような、そしてどこことなく懐かしさを覚える感覚で、至福な気分になる。ハーブやギターやピアノやフィドルなど必要最小限の伴奏でうたわれる唄は、美しい唄ばかりを選びすぎたと思えるほど、一曲一曲が珠玉で、全てを受け入れるような大らかなシンギングが何とも心地よい。w. Alison Kinnaird, Christine Primrose, Eilidh Mackenzie, Billy Ross, Ingrid Henderson, Mary Ann Kennedy, etc. 秋の深まりとともに味わいを増す極上の一枚。2017 作。Macmeanman)

*LAUREN MacCOLL: The Seer

B

(スコットランド屈指のフィドル奏者の Lauren MacColl の新作は、17 世紀に生きたとされるスコットランドの予言者ブラハン・シーアの人生と予言に Lauren がインスパイヤーされて創ったもの。Lauren は子どもの頃に本で読んで抱いた不思議さをそのままスコティッシュ・トラッドのスタイルで、かつピリピリっとスピリット高く、精霊たちが棲む不思議な森に分け入るような不思議な音楽を創作していて、ゾクゾクっと奥が深い。不思議の森の中で精霊たちがダンスするかのような不思議曲もあれば、シンガーの Rachel Newton のゲール語による闇が深い不思議曲もある。また Rachel のハーブをフィーチャーした穏やかな不思議曲もあれば、Lauren のせせりなくようなフィドルをフィーチャーした絶句の不思議曲もある。聴き終わって、長い旅をしてきた気分。共演者は Rachel Newton [ヴォーカル、ハーブ、ヴァイオリン] に加え、Mairearad Green [アコースティックギター、ピアノ、ヴォーカル]、James Mackintosh [ハーモニカ]、Anna Massie [ギター、マンドリン]。2017 作。Fais Rois)

*RYAN YOUNG: Ryan Young

B

(伝統音楽を聴いて育ったわけでもなく、家庭には伝統音楽のかけらもなかったという若手フィドラーの絶品のスコティッシュ・フィドル・アルバム。彼が伝統音楽に向かうきっかけになった音楽はアイルランドのクレアの音楽。そこからアイリッシュに行くのではなく、スコットランドの伝統的フィドル音楽にのめり込んでいったという。彼の音楽センスは Martin Hayes。この Martin Hayes 特有のふくよかなセンスがスコティッシュにも向けられていて、彼独自のフィドル・ミュージックを創作しきっている。粉雪が舞い踊りするように微細で美しいスコットランドの音楽を聴いたことがない。2016 年、Scots Trad Music Awards で新人賞受賞。

ジャケットは Ryan の演奏を聴く猫の絵。わが家の猫はフィドルの音が苦手です、すぐ逃げてしまうのですが。(2017 作。Ryan Young)

- *CALUM STEWART: Tales From The North C
(Mànran や Mabon や Burrule などのアルバムでゲスト参加していたスコットランドのイリアンパイプス、フルート、ホイッスル奏者の Calum Stewart のソロ。ソロ名義だが、バンド演奏のスタイルを取っていて、主にイリアンパイプスをフィーチャーした音楽は、彼自身の心の中の北スコットランドの歴史や伝説や風景をイメージして作った自作曲やスコティッシュやアイリッシュやシェトランドなどを汎ケルティック・トラッド的に勢いのある音楽を創作していて圧巻。久しぶりに元気印のケルティックを聴いた。メンバーは、Lauren MacColl, Eamon Doorley, Gilles Le Bigot, Adam Rhodes, Ronan Pellen, Yann Le Bozec, James Alexander, Tony Byrne, Adam Brown, Ross Saunders。(2017 作。Colum Stewart)
- *ALEX CAMPBELL, ALAN ROBERTS, DOUGIE MacLEAN: CRM C
(Dougie MacLean ファンの宝物。1979 年作。Osmosys)
- *MANRAN: Mànran B
(Mànran デビュー作。2011 作。Mànran)
- *RACHEL WALKER: Fon Reul ~ Sholus (お宝。2006 作。Skipinnish) D
- *OLD BLIND DOGS: Room With A View B
(オリジナル・メンバーは Jonny Hardie {フィドル、ヴォーカル} のみとなった Old Blind Dogs の結成 25 周年記念アルバム。メンバーは、J. Hardie に Aaron Jones {ヴォーカル、ブズーキ他}, Ali Hutton {バグパイプ、ホイッスル、ヴォーカル}, Donald Hay {パーカッション、ヴォーカル}。数々の名盤を世に送り出してきた Old Blind Dogs の名に恥じぬ横綱級スコティッシュ・トラッド。2017 作。OBDmusic)
- *OLD BLIND DOGS: Close to The Bone (93 作。Lochshore) B
- *VAIR: A Place In Time B
(シェトランドの男性五人組トラッド・バンド。シェトランドのバンドらしからぬマンドリン、バンジョー、ギターばかりの楽器編成による彼らの演奏は、曲目はスコットランド中心にもかかわらず、ゴールウェイ周辺の古っぽいアイリッシュ、それでいて結構かっこいいアイリッシュに聞こえるから面白い。あるスジからの話によると、Mary Shannon はパブで好んでスコティッシュを演奏しているという。理由はスコティッシュはかっこいいからと。そんな感じの音楽を五人で演奏しまくるのだから、凄い！2017 作。Vair)
- *FARA: Cross The Line B
(人気飛び切りのオークニー島出身の女性四人組。メンバーは Twelfth Day の Catriona Price {フィドル、ヴォー、ヴォーカル}, Jeana Leslie & Siobhan Miller の Jeana Leslie {フィドル、ヴォー、ヴォーカル}, Blazin' Fiddle の Kristan Harvey {フィドル、ヴォー、ヴォーカル} それにピアノ名手の Jennifer Austin {ピアノ、ヴォーカル} の四姫。ギャルのセンスがまぶしいキャピキャピの演奏と、これまたギャルのセンスならではの胸キュンな演奏、加えて歌心あるトラッド・シンガーならではの、清楚で心に沁みる美しいシンギング。どれもがまぶ

- しい。2017 作。CPL-Music)
- *NUA:Head Full Of Dreams A
 (ご存じ Nua は二姫二太郎の世界トップ・クラスのケルティック・バンド。四名の内三名がドイツ人で、残りの一人がオークニー島出身の Catriona Price。Catriona と、もう一人 Michaela Grus の二人の歌姫のシンギングは今が旬なシンギングで胸キュン。曲目はアイリッシュとスコティッシュとオリジナル曲で、ケルティックな風合いとノリの良さは抜群。Catriona Price の活躍はここから始まった。Beoga の Niamh Dunne が賛辞を寄せている。2013 作。Liekedeller)
- *TWELEFTH DAY:The Devil Makes Three A
 (オークニー島出身の歌姫でフィドル弾きの Catriona Price と各種ハープ弾きでシンガーの Esther Swift の女性の二人組のとびっきりの本作。Catriona のフィドルはスコティッシュな、若々しく自在なとびっきりの演奏で魅了する。相方の Esthe のハープは、Catriona の演奏に感応するようにハープを爪弾き、音楽を彩り、Catriona の演奏と一緒に舞い踊る。若々しいスコティッシュ・サウンドに彩られた二人のシンギングは、まるで花園の色とりどりな花。2014 作。Orange Feather)
- *THE CAMPBELL OF GREEPE:No. 2 Greepe B
 (Kenna Campbell, Seamus Campbell, Mary Ann Kennedy, Wilma Kennedy, Maggie Macdonald の五人組の伝統音楽一家 [Kenna と Seumas 夫妻の娘が Mary Ann と Wilma で Wilma の姪が Maggie。Kenna は 1959 年の National Mod の優勝者]によるスコットランド・ゲール語の屈指のシンギング・アルバム。驚くのは Kenna&Seamus 老夫婦のかくしゃくとしたシンギングの見事さ。娘達の清いシンギングとの微妙な声の違いから生み出される彩と綾が何とも力強くも優しく美しい。曲目にはない 14 曲目には Kenna の素朴なシンギングが収められていて、感動。スコティッシュ・トラッドのの名盤。2014 作。Watercolour Music)
- *LITHA:Dancing Of The Light A
 (メンバーは、Aaron Jones {ヴァーナル、ベース、ギター}、Claire Mann {フルート、ホイッスル、ヴァーナル}、Gudrun Walther {ヴァーナル、フィドル、アコ}、Jurgen Treyz {ギター、ドブドラ、ヴァーナル} のスコットランドとドイツのピカーの組み合わせ。曲目はアイリッシュが半数近くで、バランスの取れた演奏とシンギングは、アイリッシュをベースにしつつ、音楽をさらにハイレベルな域にまで高めている。2011 作。Arte)
- *DAVE BURLAND, TONY CAPSTICK, DICK GAUGHAN
 :Songs Of Ewan MacColl (お宝。1996 作。Black Crow) ¥2790
- *GEORGE JACKSON & MAGGIE MacINNES:Gairistina ¥2790
 (1984 作。Iona)
- *THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS Volume 7 B
 (Karine Polwart, Bobby Eaglesham, George Duff ほか。1999 作。Linn)
- *THE COMPLETE SONGS OF ROBERT BURNS VOL. 8 (1999 作。Linn) B
- *JENNA CUMMING:Tàladh - Gaelic Lullabies B

(収録曲 13 曲全曲スコットランドのゲール語の子守歌。そのほとんどは古謡で無伴奏。不思議なことに、Jenna のシンギングは全くと言ってよいほど無伴奏であることを忘れさせる美しさ。その美しさは言葉では表現出来ない母親がわが子を思うような深い美しさ。数曲オルゴールや古いハープの響きのような伴奏を伴った子守歌が収められていて、すっかり和んでしまう。静かな空気感の中で響きわたるゲール語の唄の響きとともに夢の中。2017 作。Clann Sona [「幸運な子ども達」の意])

- *BARBARA DYMOCK: Hilbert's Hotel B
(2011 年の一枚目。"Billy Taylor", "The Unquiet Grave"ほか全 15 曲。Barabara Dymock)
- *CALM AND RORY MacDONALD: The Band From Rockall C
(Runrig の創設メンバーの Calm&Rory 兄弟の本作は、感涙のスコティッシュ・フォーク・ロック。ロックやポップスに熱狂した青春時代に想いを馳せた心からの唄とロックはどこか懐かしくて、あったかい。2012 作。Ridge)
- *DONNIE MUNRO: Sweet Surrender - Live Acoustic D
(元 Runrig のフロントマンの Donnie Munro のライヴ 二枚組。Donnie は 2014 年に Eric Cloughley [ギター、バックিং・ヴォーカル], Maggie Adamson [フィドル] とアコースティック・トリオを結成。本作はそのトリオで行ったコンサートのライヴ盤。僕などは Donnie Munro=Runrig のイメージがあるが、本作を聴くと、そのまま Runrig のアコースティック版として、馴染んでしまう。彼の唄はそのまま「スコットランドの声」として優しく、パワフル。アコースティックだが、唄も音楽も熱い。そして感観客も。全 19トラック。2015 作。Hypertension)
- *RUNRIG: The Essential A
(1981 年～1996 年収録の音源からの 16トラック収録の編集 CD。偉大なスコティッシュ・ロック・バンドですな。2007 作。Capitol)
- *RUNRIG: In Search Of Angels (99 作。Columbia) A
- *SHOOGLENIFTY: Radical Mestizo (Shoogle) C
- *SHOOGLENIFTY: Roots (2007 作。Shoogle) C
- *ALISTAIR RUSSELL: A19 B
(元 Battlefield のシンガーでギター奏者の Alistair の 2002 年作。Dave Burland, Karine Polwart, Maartin Allcock, John McCusker, John Martin, Kieran Halpin, Chris Sherburn 等の心からのバックアップで、伝統歌を中心に Andy Irvine や Archie Fisher 等の曲を滋味豊かにうたう。秋の夜長の良き友。2002 作。Glade)
- *ALISTAIR RUSSELL & CHRIS PARKINSON
: A Glass And A Mile B
(元 Battlefield Band のシンガーでギター奏者の A. Russell とアイルランドの Mayo をルーツとするアコ奏者の C. Parkinson による二枚目。大半はアイリッシュ。Alistair は父親から多くのアイリッシュ・ソングを聞かされたという。Alistair の唄は Battlefield Band の流れを引く印象だが、その流れの中でも愁いのある曲ばかりをうたっていて、何やら「心の唄」的な内容で、聴いていて、懐かしい気分になってしまう。2013 作。Glade)

- *BATTLEFIELD BAND:Happy Daze A
 (Karine Polwart, John McCusker, Alan Reid, Mike Katz がメンバーの最強 Battlefield の 2001 年作。Temple)
- *BATTLEFIELD BAND:Dookin' A
 (彼等らしいエキサイティングな演奏と Alan のお涙頂戴のシンギングで泣き笑いさせる。「一曲一曲が琴線に触れる演奏と唄」と簡単には片付けられない感動的な音楽。2007 作。Temple)
- *UP IN THE AIR: Moonshine A
 (Up In The Air は、Old Blind Dogs の創設メンバーの二人の Jonny Hardie {フィドル、ギター、ヴォーカル} と Davy Cattanach {ハーモニカ、ギター、ヴォーカル} に Iron Horse の Gavin Marwick {フィドル} のスーパー・トリオによる 2012 年のアルバム。スコティッシュ臭の強い Dave のシンギングが素晴らしく、全体として Old Blind Dogs 的なスコティッシュをベースに自在な音楽を創作していて素晴らしい。
 Up In The Air)
- *CHERRY GROVE: No Time Like Now A
 (若き女性四名 = Marianne Fraser {ヴォーカル、ギター}, Mhairi Mackinnon {フィドル、ヴォーカル}, Sarah MacNeil {ハーモニカ、ヴォーカル}, Heather Shelley {ピアノ、ヴォーカル} + 男性 = Grant McFarlane {アコ、ヴォーカル} 一名のエキサイティングなスコティッシュ・トラッド・バンドの爽快デビュー作。彼女たちは若い女性ならではの可憐かつ萌え立つセンスを活かして、今日的感覚のグルーヴィーなケルティック・ミュージックを軽やかに創作しきっている。加えて Marianne 唄はフォーク系シンガーとして最高に魅力的。2014 作。Cherrygrove)
- *MAGGIE MacINNIS: Spiorad Beatha B
 (自身のハーモニカ又はピアノの弾き語りによるガール・ソングの美しさと気持ちは流石。w. Flora MacNeil, Keith Easdale, Graeme Hughes, Marie Felding, Brian McAlpine, Charlie McKerron, etc. ゲール語原詩&英訳付。2001 作。Marram)
- *ESME'S ADVENTURE "The Girl With The Purple Harp" B
 (本作は 11 歳の時に脳腫瘍を患い、2013 年に 18 歳の若さで亡くなった女性ハーモニカ奏者の Esme Morris Macintyre に、スコットランドのハーモニカ奏者達が Esme のために作曲し、捧げたアルバム。伝統曲は "The Arran Boat" の一曲のみ。演奏家は、Sileas が二曲演奏している以外は、ハーモニカ奏者或いはグループが一曲ずつ演奏。収録曲は全部で 14 曲。演奏者は異なるが、曲調が主にスコティッシュ風の曲作りなのと、ほとんどの演奏が控えめで、石清水のように澄んだ音色の響きを放っていて、不思議なことにアルバムとしての統一感が感じられる。本 CD の売り上げの全額は英国の「Teenage Cancer Trust」という NPO に寄付される。P16 のブックレットには元気な頃の Esme の写真がいっぱい。2015 作。Teenage Cancer Trust)
- *CHRIS STOUT & FINLAY MacDONALD: The Cauld Wind B
 (Chris Stout の相方の Catriona MacKay が Olov Johansson と組み、一足先に素晴らしい音楽を発表したが、Chris がハイランド・パイプ奏者の Finlay MacDonald と組んだ本作は、Catriona&Olov の上昇気流音楽のレベルに劣らぬ唯一無比の素晴らしい音楽。Chris&Finlay

は伝統性に重きを置きつつ、産み落とされた音楽は革新的で典雅で高潔。音楽のすべてのレベルが高く、魅力的。こんなわくわくするようなスコティッシュ・ミュージックは聴いたことがないと思ってしまう。バグパイプとフィドルの組み合わせによる新たな魅力的なスコティッシュ・ミュージックを創作している。心にビンビン響く。スコットランドの人なら、もう感電死。2013 作。Chris Stout Music)

*CRUINN:Cruinn C

(スコットランドを代表するトラッド・シンガー 4 名 [Rachel Walker, Fiona Mackenzie, James Graham そして Brian O hEadhra] から成る Cruinn の一枚目。トラッド・シンギング・アルバムの傑作。2013 作。Cruinn)

*CHRIS SHERBURN & FINDLAY NAPIER

:Two Men On A Boat C

(スコットランドのトラッド・グループ“Back Of The Moon”のシンガーでギター奏者の F. Napier と英国のトラッド・グループ“Last Night's Fun”のコンサート奏者の C. Sherburn のデュオ・アルバム。C. Sherburn は伴奏に徹していて、実質的にヴォーカルの Findlay のソロ・アルバムののだが、これが抜群に良い。Dick Gaughan の“Live In Edinburgh”, Nic Jones の“Penguin Eggs”等を二人共通の“Great Album”とし、本作を制作した二人だが、Findlay のスコティッシュなまりのヴォーカルは、柔らかくも毅然とした孤高感があって、心に響く。ブリティッシュ・トラッド / フォーク・アルバムの名盤。2014 作。Lister)

*EWAN McLENNAN:Rags & Robes B

(E. McLennan の心にしみる名盤。w. Jackie Oates, Peter Tickell。2010 作。Fellside)

*KATIE McNALLY:Flourish A

(Long Time Courting の女性フィドラー Katie のソロ。米国でスコティッシュ・フィドルを習得し、仕上げでスコットランドに渡って習得した Katie の演奏は米国人だからこそか、スコティッシュ・スタイルのフィドルの魅力を感覚的にかつ実践的に熟知していて、メチャ最高！2012 作。Katie McNally)

*AALD NOOST B

(棚で発見した貴重なシットランドの音楽。収録年は 1994 年。本作の発案者はピアノ奏者の Violet Tulloch アコーディオン奏者の Iain MacPhail。二人は音楽仲間 [フィドルの Ronnie Jamieson、アコーディオン奏者の Brian Morrison、ベースの Cecil Hughson、Douglas Johnstone] を誘って、シットランドの伝統音楽のスタイルに則った音楽を自分たちのアレンジで演奏したのが本作。ケリー・バント・スタイルのシットランド音楽は、シットランドでは当時としてはニュー・ウェイヴだったのだろう。ダンスの風景が目に浮かぶダンス曲の数々。短い曲解説に一曲一曲への思い入れが端的に綴られていて、演奏者の「曲の好きさ」がよくわかる。録音はオケニ諸島。在庫数枚。Attic)

*FIONA DAVIDSON:The Language Of Birds C

(1998 年リリースのケルティック・ハープの弾き語り。9 曲中 6 曲が Storytelling、つまり「語り」で、3 曲が唄。Fiona はハープを爪弾き、語りと唄で、古代吟遊詩人の神秘的な語り部の世界、ケルトの伝説の世界へと誘う。

1998 作。Watercolour)

- *ALY BAIN, ALE MOLLER, BRUCE MOLSKY: Meeting Point C
("Live At The Liverpool Philharmonic". Aly Bain と Ale Moller にオールド・タイム・フイドルでシガーの Bruce Molsky が加わったトリオでのライヴ。Aly Bain のフイドルをフィーチャーしたシエラントの曲では Ale がマントラが気品のある彩りを添え、Bruce のヴォーカルとフイドルをフィーチャーした米国のトラッドでは Ale がマントラが気品のある彩りを添え、二人の民俗色豊かな音楽をシェイプアップし、Ale のマントラをフィーチャーした北欧の曲では二人のヴォーケラン・フイドルは北欧スタイルのフイドルで遊び、その遊びの後には本来の自身のスタイルのフイドルで遊んだり、シエラントとスウェーデンと米国のトラッドの演奏名人の三人による最高に美味しいミックス・ジュース音楽。2013 作。Whirlie)
- *ALY BAIN & ALE MOLLER: Beyond The Stacks C
(シエラントのフイドル曲を中心に数曲のスウェーデンの曲を加え、A. Bain と A. Moller がそれぞれの国の音楽性を共有し、共演したもの。2007 作。Whirlie)
- *DUNCAN CHISHOLM: Live At Celtic Connections C
(2013 年の Celtic Connections のライヴ。会場は Kelvingrove Art Gallery。今日、スコットランドの泣きのフイドルでは彼の右に出る者はいない。ソで、デュオで、グループで、会場のアート・ギャラリーの展示物に負けないうスコティッシュ・ムードの音の絵を描く。スコティッシュ・トラッドの7ビ7ビのフレーズがふんだんに盛り込まれた極上の演奏は、すっかり極楽気分。一緒に音の絵を描く共演者は、Jarlath Henderson {イリッシュ・パイプス}, Allan Henderson {フイドル、ピアノ} Matheu Watson {ギター}, Martin O' Neill {バウロン}, Ross Hamilton {ベース}。Copperfish)
- *KRIS DREVER: Black Water And Live C
(K. Drever の 2006 年のデビュー作 {全曲ミックスをやり直している} とグラスゴーの Old Fruitmarket での 2008 年のライヴ {12 曲収録} の 2 枚組 CD。ライヴは、Karen Matheson, Heidi Talbot, John McCusker, Ian Carr, Ewan Vernal, Andy Seward, Donald Shaw, Andy Cutting, Donald Hay, Roddy Wooble と豪華な顔ぶれ。もちろん新しいパッケージとブックレット。2007/2012 作。Reveal)
- *THE PAUL McKENNA BAND: Between Two Worlds A
(この若手バンドは最高。リーダーでヴォーカルの P. McKenna のヴォーカルが絶品で、心に沁みるし、加えて、P. McKenna のギター、David McNee のベース、Sean Gray のフルート&ホイッスル、Ewan Baird のバウロンそして屈指の若手フイドル奏者の Ruairidh Macmillan のフイドルによるセッションする演奏のワクワク度はもの凄い。2009 作。Greentrax)
- *DUNCAN WOOD & GUESTS: Swarbricks B
(本作のアイデアは Cathal McConnell と Duncan Wood が Swarb と Edinburgh Folk Club で共演したことに始まる。全曲 Swarb 作曲の曲で全 17トラック収録。マントラ、マントラ、フイドル、ヴォーカル、バウロン等を演奏する Duncan は、Swarb の曲は完成されていて、簡単には編曲不可能と判断し、じゃあセッションで作ろう！ということになって、Cathal McConnell {フルート、ホイッスル}、Martin McDonald {ギター、ベース}、Gavin Sutherland {ギター}、Maureen Hunter {ハープ} の仲間とフォーク・クラブで

セッションするように作ってしまったのが本作。これが功を奏して、まるで Boys Of The Lough のようなスコティッシュ・トラッドっぽい音楽に自然変化。ギター系楽器が多い分、音楽の粒立ちが良く、軽やかで優雅に響いている。聴いてすぐに Swarb の曲とわかる人はよほどの Swarbマニア!? 2013 作。Beaechwood)

- *ALASDAIR ROBERTS & FRIENDS: A Wonder Working Stone B
(Dougie MacLean と活動を共にしていた Andy Roberts の息子、Alasdair の本作は、70 年代ブリティッシュ・フォークの香りがプンプン。不思議な懐かしい感じの音楽。2013 作。Drag City)
- *ALASDAIR MacIILeBHAIN: Las B
(別名 Alasdair Whyte。スコットランドのガール・ソングのコンテスト優勝者 Alasdair のデビュー作は、野郎ながら何とも美しいガール・ソング・アルバム。Alasdair のオリジナル曲が半数の本作だが、唄のストーリーは伝統歌集的。柔和なシンキングの感じが、僕の大好きな Arthur Cormack に似ていて、病みつき。2012 作。Watercolour)
- *MACMASTER・HAY: Hook B
(Sileas の Mary Macmaster と打楽器奏者の Donald Hay の 2 枚目。ハーブの音楽、スコティッシュ・ミュージックの最前線の音楽。驚くのは Mary のシンキングの素晴らしさ。特にタイトル曲“Hook” [Waulking Song] でのシンキングの魔性的ムードはドキドキとってしまう。2012 作。MDMC)
- *KARINE POLWART: This Earthly Spell A
(2008 作。Hegri Music)
- *LIONEL McCLELLAND: To Wyle Us Hame B
(2010 年 9 月、心不全で亡くなったスコットランドを代表するフォーク・シンガーの L. McClelland の亡くなる前に収録を終えていたヨ。スコットランド語のシンガーであり、ストーリーテラーであり俳優だった Lionel は、“The Complete Songs Of Robert Burns”のシリーズの制作に情熱を傾けたことでも知られる。本作に収められた Lionel の唄は温もりの感じられる穏やかな自作作曲中心の唄。w. Pete Clark, Marc Duff, Aaron Jones, Paul McKenna, Rod Paterson, etc. スコットランド音楽の重要作。2012 作。Actually Productions)
- *KRIS DREVER, EAMONN COYNE AND MEGAN HENDERSON
: Kris Drever, Eamonn Coyne And Megan Henderson ¥1280
(Lau のメンバーでフォーク・シンガーの Kris Drever と仲間によるリラックス・ムードの中にもピリっとハリのある Kris の唄 3 曲とバンジョー、ギター、フイドルによるセッション 2 曲。Kris がうたう“Parcel Of Rogues” [Trad], “Wild Hurricane” [Sandy Wright] / “Lament For Glencoe” [Trad], “Shady Grove” [Trad] の 3 トラックは、もう抜群。2012 作。Reveal)
- *SIMON CHADWICK: Old Gaelic Laments C
(本作は 15 世紀の金属弦ハーブ [クラムハ] クイーン・マリー・ハーブ の復元ハーブによる 16~18 世紀の哀悼歌集。Simon の演奏は普段聴くスコットランドのハーブともアイルランドのハーブとも趣を異にしている。Simon の演奏はいにしえの宗教的な音楽の世界に身を委ね、その陶醉の中で、最上の美しい音色を爪弾いているのよう。色彩感のあるリズムの連なりが不思議なメロディーを創り出している。2012 作。Early Gaelic Harp)
- *SKETCH: Shed Life B

(一瞬 Martin Bennet!?とってしまう冒険心旺盛なスコティッシュ・ミュージック。しかし音楽のコンセプトはハイランド地方の農閑期のダンス音楽。バンド・メンバーはスコティッシュ・シンガーの Maeve Mackinnon にフィドルの Neil Ewart, パイプ、ホイッスルの Steven Blake, ギターの Chris Waite, パーカッション、プログラミングの Iain Copeland。スリリングなスコティッシュ・ダンス&ディスコサウンドの嵐の中 Maeve は神がかってスコティッシュ・ゲール語でシンキングする。免疫力のないスコティッシュ・トラッド・ファンには危険な音楽。でも力は最高!ゲスト: Ross Ainslie, John Spiers。2012 作。Skye)

- *PATSY REID: Bringing The Gap A
(スコティッシュ・フィドル奏者 P. Reid の 2008 年作。w. Mhairi Hall, Aidan O'Rourke, Anna Wendy Stevenson, etc. Vertical)
- *JENNA REID: Morning Moon B
(過去、シェトランドの Filska、スカイ島の Dochas そして Deaf Shepherd のフィドラーとして活動したシェトランド・フィドラーの Jenna の本作は、シェトランド・フィドルから広くスコットランド・フィドルそして海を渡ってケープ・ブレトン・フィドルとフィドル・ミュージックの幅を広げてきた Jenna の音楽を盛り込んだ作品。w. Kevin Mackenzie, Bethany Reid, Kathleen Boyle, Olov Johansson, etc. 2012 作。Lofoten)
- *JENNA AND BETHANY REID: Escape B
(第二次世界大戦下に北海で起こったある楽器制作者の逃避劇の物語の一場面一場面をシェトランドの若手随一のフィドラーの Jenna Reid と妹の Bethany [フィドル&ピアノ] が作曲し、二人で演奏した音楽。音楽はいわばシェトランドの伝統音楽を中心に据えた創作音楽で、緩急自在でイメージ豊富な音楽を含め Gattiona McKay&Chris Stout の高潔な音楽世界に通じるし、肩を並べている。2010 作。Lofoten)
- *THE SCOVILLE UNITS: The Scoville Units a
(注目すべきスーパー・ケルティック・ブルグラス・バンド。メンバーは Flook の Ed Boyd に Show Of Hands の Miranda Sykes, Daily Planet の Leon Hunt, Josh Clark, Rex Preston そして紅一点の Gina Griffin。面白いのは Leon Hunt のセックス抜群の即興的なパソパソ。これと精鋭ケルティック・サウンドとのミックスがめちゃ新鮮。好きにセッションする中で、伝統歌やダンス曲を魔法のようにとびつきりフレッシュで、オリジナルなアコースティック・ミュージックへと変幻させる。心ゆく気分爽快! 加えて、3 曲で愛らしいヴォーカルを披露する Gina の唄も素敵。2010 作。Get Real)
- *RURA: Break It Up a
(スコットランドから飛び出した 2011 年の“The MG Alba Scots Trad Music Awards”授賞の若きトラッド野郎達のどでかいデビュー作だ。彼らはデビュー作にして、ヴァンサン・スコティッシュ・バンドの風格。堂々として、気高く優艶な演唱を長々と聴かせたかと思えば、終盤、バグパイプ、ギター、フィドル、フルート、バウロン等がエレクトリック・ミュージックに絡み合い、舞い上がる。その、スコティッシュ・スピリット溢れるグルーブは凄い。2012 作。Greentrax)
- *ALISTAIR OGILVY: Leaves Sae Green A
(若き男性トラッド・シンガーのデビュー作。Alistair のシンキングは、Dick Gaughan のシンキングを正調スコティッシュ・トラッド節と位置づければ、正調。スコットランドの伝統歌を中心に Andy M. Stewart や Davy Steele 等の曲を伸び伸びとシンキングする。その健やかな唄が気持ち良い。w.

Steven Polwart, Aly Macrae, Inge Thompson. Produced by Mattie Foulds. 2012 作。Greenrux)

*BRUCE MacGREGOR AND CHRISTINE HANSON

:Kissin' Is The Best Of A' B

(Brazin' Fiddles のフィドル奏者の B. MacGregor と大西洋を挟んで活動するマルチ音楽対応チェロ奏者の C. Hanson とのコラボ。Bruce のハイランド色濃厚な多彩なフィドルに Christine のチェロが深い情感を加える。演奏者の心はスコットランドで何百年も伝承されてきた音楽への深い愛情に満ちている。Tim Edey, Brian McAlpine. 2011 作。Brechin All)

*JOANNE McIVER & CHRISTOPHE SAUNIERE: The Cannie Hour A

(スコットランドのガール・シンガーの J. McIver とブルターニュのケルティック・ハーブ奏者の C. Saunier のデュオアルバム。全曲、ヴォーカルの Joanne の自作曲なのだが、伝説や妖精物語やお化けの話などにインスピレーションを得たトラッド風のスコットランドのゲール語と英語混在の唄で、トラッド・シンガーとして、また魅惑の不可思議 SSW としての、両方の魅力を持ち合わせている。2011 作。Buda)

*COAST: The Turning Stone B

(これは Wolfstone クラスのフォーク・ロック・バンド。いや Wolfstone より底力がある。むしろ Runrig に近いかも。ヴォーカルの Paul Eastham はスコティッシュ・フォーク・ロック・バンドのヴォーカルとして凄く魅力的。音ゲスト: Duncan Chisholm. 2011 作。Ruabhal)

*JIM MALCOLM: Acquaintance C

(Robert Burns 集。2007 作。Beltane)

*EAMON DOORLEY, MUIREANN NIC AMHLAOIDH,

JULIE FOWLIS, ROSS MARTIN: Dual A

(Dochas のシンガーで屈指のガール・シンガーの Julie Fowlis と Danu のシンガーで屈指のゲール・シンガーの Muireann の、スコットランドとアイルランドの二人の歌姫の競演アルバム。2008 作。Machair)

*BRIAN O hEADHRA: An t-Allt B

(アイルランド・ダブリン出身で元 Anam の Brian のソロ。タイトルは「流れ」の意。現在はスコットランドのインヴァネス在住で、奥様は Mackenzie 三姉妹の Fiona。スコットランド・ゲールとアイルランド・ゲールの唄が 9 曲で英語の唄が 3 曲。深い森のふかふかした落ち葉のような唄だ。w. Fiona Mackenzie, Sandy Brechin, Chris Agnew, Richard Werner, Louisa Rafferty, Pat McGarvey. 2011 作。Brechin All)

*MATHEU WATSON: Matheu Watson C

(録音時 20 歳の天才的フィドル&ギター系楽器奏者の鮮烈なデビュー作。Matheu は 2009 年に "Best Up And Coming Musician" 賞に、2010 年に彼が在籍する Fred Morrison Trio が "Best Folk Band" 賞にノミネート。2010 作。SEE001)

*URACHADH B

(北西ハイランドの人々の物語や歴史や音楽をテーマにした音楽。James Graham {ヴォーカル}, Catriona MacLeod {ヴォーカル、アコ、ホイッスル}, James Ross {ピアノ}, Carol-Anne Mackay {各種バグパイプ、ホイッスル、アコ、ヴォーカル}, Rhona Sutherland {フィドル、ギター、フズキ} の編成で、James と Catriona と Carol のガール・ソングを中心にグループとしてゆるやかな

連帯感を保ち、伝統歌と伝統音楽のバランスが取れ、ハイランドのトラッド音楽として味わいが深い。2010 作。Urachadh)

- *ALEX HODGSON: Jeelie Jars 'n' Coalie Backies B
(A. Hodgson は大衆の人気者の SSW で、伝統歌もうたうスコティッシュ・フォーク・シンガー。その音楽は純粋にスコットランドのトラッドを志向するものではなく、大衆性のあるコンテンポラリー・フォーク。w. Kenny Hutchison, David Paton, James Mackintosh, Calais Brown, Kevin McGuire, etc. 2010 作。Greentrax)
- *GABE McVARISH: Eclection B
(現在 Daimh のメンバーで、数々の著名バンドのレコーディングに参加し、現在フィドルの教師としても多忙なフィドラー、Gabe のソロ。スコットランドの曲を中心にアイルッシュやケープ・ブレトンの曲を古いスタイル、新しいスタイル、先鋭的なスタイル等を使い分け、緩急自在に演奏してしまう小器用さは天才的。2010 作。Greentrax)
- *IVAN DREVER: Notes From An Island C
(Lau の Kris Drever のお父さんで元 Wolfstone のヴォーカルの Ivan の本作は、彼自身の歴史を振り返る回顧的内容で、オーケストラへの思いや家族への思いが綴られた唄達が穏やかな風のように流れる。Ivan の歌唱は滋味豊かで、どの唄も優しさが深い。ブックレットにはピア色化したつつある家族写真が十数枚掲載されている。2010 作。Attic)
- *CALUM MARTIN: An Dealachadh C
(Lewis 島のスコットランドのゲール語シンガーの C. Martin の本作は Runrig を想起させるスコットランドの薫り立つ潔いフォーク・ロック。これが実にかっこいいのだ。かっこいいだけではない。Isobel Ann Martin と Catherine Joan Martin の女性シンガーの唄がフィーチャーされた唄など女性ガール・ロック・シンガー特有の哀愁漂う優美な美しさを湛えていて、すっかり夢見気分。2010 作。Ridge)
- *SIMON BRADLEY・LUKE PLUMP: Wintering Out C
(アイルランド系イリス人アイルッシュ・フィドラーの S. Bradley とヌメニア島出身で Shooglenifty と Fine Friday のベース奏者の L. Plump のアイルッシュをメインにしたアイルランド〜スコットランド〜アストurias を繋ぐ心と魂が響き合う素晴らしい音楽。2004 作。Shoogle)
- *SKIPINNISH CEILIDH HOUSE "The Scottish Music Show" C
(スコットランドのカーリー・ハウスでのライヴ。Rachel Walker {2 曲}, Mary Catherine MacNeill {"Fear a' Bhata" 他全 4 曲}, Angus MacColl, Archie MaAllister, Scot Wilson, Skipinnish, Sconaidh MacIntyre, Eilean Scalpaigh na Hearadh による全 13 トラック。2009 作。Skipinnish)
- *CHRISTINE PRIMROSE ・ BRIAN O HEADHRA: An Turas B
(名実共に最高のガール・ロック・シンガーの C. Primrose とダブリン出身でアイルランドのゲール語を学んだ Anam のシンガー&ギター奏者の Brian とのスコットランドのガール・ロック・ソングとアイルランドのガール・ロック・ソングの謙虚でスピリットの高いトラック・アルバム。歌詞原詩&歌詞英訳付。2003 作。Anam Music)
- *KEN CAMPBELL'S IDEAL BAND: Ken Campbell's Ideal Band B
(1980 年代に活躍したフォーク・ロック・バンドの Ideal Band の再結成アルバム。メンバーは Ken Campbell {ヴォーカル、12 弦ギター、リュート、ノーサンブリアン・パイプス}、

- Seylan Baxter {チェロ、ヴォーカル}, Gavin Paterson {キーボード、ギター、ヴォーカル}の女性一名男性二名の計三名。ゲスト: Steve Lawrence, Wendy Weatherby, Hamish Moore。2009 作。Fellside)
- *BRIAN McNEILL: The Baltic Tae Byzantium B
 (副題“Tales Of The Scots In Europe”。ご存知 Battlefield Band の創設メンバーで、マルチ演奏家で、現在 RSAMD の“Scottish Music”部の学部長で、多くの若き音楽家を育てている B. McNeill のソロ。
 w. Dick Gaughan {ヴォーカル、ギター}, Patsy Seddon {ヴォーカル}, Sylvia Barnes {ヴォーカル}, Dominique Dodge {ハーフ}, Lorne MacDougall {ハイランド・パイプス}, etc. 2009 作。Greentrax)
- *LAUREN MacCOLL: Strewn With Ribbons B
 (2004/5 年の“BBC Radio2 Young Folk”賞受賞の Lauren の 2 枚目。滅茶苦茶素晴らしいスコティッシュ・フォーク・アルバム。選曲は 1800 年前後の楽譜に収録されたハイランド地方の伝統曲と伝統曲からインスパイアされて自身が作曲した曲だが、前作同様 Lauren のハイランドの薫り発つ演奏の素晴らしさは巍然としていて、神がかり的。疑いなくスコティッシュ・フォーク・アルバムの最高傑作。2009 作。Make Believe)
- *CEOLBEG: Cairn Water B
 (Wendy Stewart, Rod Paterson, Gary West, Peter Boond, Colin Paterson, Mike Travis から成るスーパー・スコティッシュ・グループの 99 年作。Wendy のエレクトリック・ハーフの導入他実験的要素もある当時最前線のスコティッシュ・トラッド。今聴いても圧巻。Greentrax)
- *RACHEL HAIR: The Lucky Smile C
 (アイルランド系スコットランド人ハーフ奏者の R. Hair の 2 枚目は時折ギター、ベース、ドラムス、パーカッションが入る Catriona McKay 路線を目指す意欲作。Joy Dunlop なる女性シンガーがうたう 2 曲のガリック・ソングも聴き逃さない。むしろ二人、ヴォーカル&ハーフのデュオで活動して欲しいと思うほどだ。2009 作。March Hair)
- *HAREM SCAREM: Storm In A Teacup C
 (Nuala Kennedy が抜け、Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompson のスコットランドの名うてのトラッド・ミュージシャン 4 名による Harem Scarem の 2008 年作。Vertical)
- *HAREM SCAREM: Let Them Eat Fishcake C
 (Eilidh Shaw, Ross Martin, Sarah McFadyen, Inge Thompson, Nuala Kennedy の女性 4 名と男性 1 名から成る新進気鋭のスコティッシュ・バンドの 2002 作。ゲスト: Kris Drever。Vertical)
- *FACE THE WEST: The Wishing Stone B
 (Wolfstone 島の Lewis 島の 4 人組スコティッシュ・フォーク・ロック・バンドの 2 枚目のよう。Keith Morrison の健やかなヴォーカルと彼らのスコティッシュ・トラッドの匂いを撒き散らす若々しいフォーク・ロックは気分爽快。めちゃ Good! 2008 作。West Studio)
- *THE MARTIN GREEN MACHINE “First Sighting” B
 (Lau のアコ奏者 Martin Green のやりたい放題の実験音楽。ポータリスな彼の音楽性からある程度想像していたが、やはりジャンル分け困難な実験的でユーモラスでお遊び感覚のクロスオーバー音楽。色彩感豊かで、遊園地音楽とでも言いたい音楽。彼はほつま遊び好きやな。子どものま

まの感性の音楽家。w. Inge Thomson, Barnaby Stradling, Tom Cook , etc. 2009 作。Navigator)

- *MALINKY: Flower & Iron B
(Malinky4 枚目は、ウ ゾーカル&チェロの Fiona Hunter, ウ ゾーカル、ブ スーキ他の Steve Byrne, ウ ゾーカル&ホイッスル他の Mark Dunlop, フィドルの Mike Vaas としてギターの Dave Wood の強力ラインナップ による三人のシンガーのシンギング が光り、とびっきりのスコティッシュ・サウンド が飛び交う唄、音楽ともに、最高レベルでバランスの取れた傑作だ。2008 作。Greentrax)
- *MALINKY: Last Leave B
(Karine Polwart がウ ゾーカル。2000 作。Greentrax)
- *MALINKY: Ravens (Karine Polwart がウ ゾーカル。2002 作。Greentrax) B
- *MARK DUNLOP: Islands On The Moon B
(アイルランド の Antrim 生まれでスコティッシュ・トラッド ・バンド の Malinky のシンガー兼ホイッスル&パ ーウロン奏者の M. Dunlop の初ソロ。2008 作。Greentrax)
- *KRIS DREVER ・ JOHN McCUSKER ・ RODDY WOOMBLE
: Before The Ruin B
(スコットランド のトラッド ・シーン最先端を走る K. Drever と J. McCusker に SSW の R. Woomble のトリオによるびしっとかっこいいフォーク・ロック。w. Heidi Talbot, Norman Blake, Michael McGoldrick, Andy Cutting, Phil Cunningham, Ian Carr, Donal Show, etc. SSWファンも是非。2008 作。Navigator)
- *DONNIE MUNRO: An Turas B
(スコットランド 人のアメリカ移民の唄。ガ ーリック・ソング を含む Donnie の入魂のフォーク・ロック。Runrigファン必聴。2008 作。Greentrax)
- *DONNIE MUNRO: Field Of The Young B
(元 Run Rig のウ ゾーカルの Donnie の 2003 年のライヴ 。David Paton, Chaz Steward, Dave Stewart 他のバンド 編成でまるでもう一つの Run Rig 的スコティッシュ・フォーク・ロックでぐいぐい迫る。全 16 曲。スカイ島の宝。2004 作。ドイツHypertension)
- *DONNIE MUNRO: Donnie Munro A
(スカイ島でのライヴ 。Donnie の力強く美味しい唄が詰まった最高の 1 枚。SSWファンも是非！至福保証。2000 作。Vital Spark)
- *A CELEBRATION OF THE MUSIC OF GORDON DUNCAN B
(2005 年 12 月に急逝したハイランド ・パイパーの Gordon Duncan の名を冠した基金{パイプ 音楽と若手伝統音楽家支援が目的} 立ち上げコンサートのライヴ CD。出演者は Dougie MacLean, Kris Drever with Eamonn Coyne and Tim Edey, Duncan Chisholm, Maggie MacInnes, Session A9, Jock Duncan, Allan MacDonald Eamonn Coyne and Kris Drever, Ross Ainslie and Ali Hutton, Atholl Highlander's Pipe Band, Jarlath Henderson and Eamonn Coyne and more。CD の売上は基金に。2008 作。Greentrax)
- *EAMONN COYNE&KRIS DREVER: Honk Toot Suite a
(タ ブリン出身のダンシング ・バンジ ョー奏者 Eamonn と Lau のムバ ーでシンガーでセッション・ギターの達人 Kris によるバンジ ョーとギターの掛け合いをベースにしたハイレベルなコラボレーション。バンジ ョー音楽の多彩さとマジ カな響きが自由な空気感の中で存分に発揮されている。2006 作。Compass)

- *SIMON THOUMIRE・DAVID MILLIGAN:The Big Day In A
 (コンサート鬼才 S. Thoumire とジャズ・ピアニストの D. Milligan との即興性あるスコティッシュ・ミュージック。スコティッシュ・トラッドの土俵の中で、新種の美しい花を咲かせている。2001 作。Foot Stmpin')
- *ROBIN WILLIAMSON:The Celtic Bard C
 (彼独特なハープの弾き語りによる全 18 曲は、ハープの魔法的響きが最大限に生かされていて、他のハープ奏者とは一線を隠した魔法的美意識で貫かれている。2008 作。スウェーデン Gason)
- *PEATBOG FAERIES:What Men Deserve To Lose C
 (Shooglenifty と肩を並べるスコティッシュ・トラッド界の豪放な異端児バンドの Peatbog の 2007 年作。パイプやフイドルやホイッスルはスコティッシュのメロディーを高らかにうたい、エレクトロニックは熱風で煽る。前人未踏のスコティッシュ・ロックを体現。横綱級。2007 作。Peatbog)
- *MAIRI SINE CHAIMBEUL:Thall An Loch Aillse A
 (女性スコットランドのゲール語シンガーによる名作。w. Mary Ann Kennedy, Seoras Campbell, Findlay Napier, Hamish Napier, Ali Hutton, James Graham, Gillebride MacMillan。2007 作。Macmeanmna)
- *DAVY STEELE:Chasing Shadows B
 (元 Battlefield の D. Steele の 97 年作。w. Sileas, Dick Gaughan, Alan Henderson, Brian McAlpine, etc. Hypertension)
- *ALASDAIR WHITE:An Clar Geal C
 (空前絶後最高レベルのケルティック・フイドル・アルバム。踊るフイドラーとも呼びたいほど様々なタイプの民俗性ある音楽を個々のリズムを楽しむように心と体で演奏する。w. Aaron Jones, Mike Katz, Ewen McPherson, Alison Kinnaird, etc. 2006 作。Temple)
- *ROSS KENNEDY:Scottish Voice & Acoustic Guitar B
 (元 Tannahill Weavers で Iron Horse の創設メンバーで屈指のスコティッシュ・ギター奏者でトラッド・シンガーの R. Kennedy の本作はスコティッシュの高貴さと芳香に充ちた渾身のソロ。2007 作。Greentrax)
- *ORKNEY FOLK "Traditional Music From The Islands" C
 (Orkney Folk Festival 25 周年記念に制作された記念盤。全 19 ミュージシャン/グループによる全 19 曲。Wrigley Sisters, Rory McLeod&Aimee Leonard, Ivan Drever, etc. 2007 作。Orkney Folk Festival)
- *THE ORKNEY SESSIONS FROM THE AYRE HOTEL A
 (全 17 トラック。95 作。Attic)
- *HARP HOUSE B
 (Edinburgh Harp Festival からのライヴ。スコットランドのハープ奏者中心の名演奏集。収録順に ParkStickney&Rudiger Oppermann, Kike Pederson, Crasdant, Karen Marshalsay, Nuria Llopis Areny, Isobel Mieras, Graíne Hambly, Ann&Charlie Heymann, Calluna, Ciar, Catriona McKay&Simon Nieminski。2005 作。HarpHouse)
- *GORDON PATTULLO:Fair Play C
 (70 年代から活躍するアコーディオン奏者。ダンス曲オンパレード。91 作。Lapwing)
- *JAMES ALEXANDER:The Speyside Fiddler C
 (Fochabers Fiddlers のリーダーでフイドラーの J. Alexander のソロ。スコティッシュ・フイドルの香り高い純正スコティッシュ・フイドル・アルバム。純粹に土の香りの

するスコティッシュ・フィドルの味わいを味わいたい方への推薦盤。2005 作。
CD-R。Ross)

- *KAREN MATHESON:Downriver B
(w. Donal Lunny, James Grant, Donald Shaw, James Mackintosh,
Ewen Vernal。2005 作。Vertical)
- *SHONA MOONEY:Heartsense A
(2006 年 BBC Scotland の Young Traditional Musician 賞優勝の女性
スコティッシュ・フィドル奏者のデビュー作。w. Ian Stephenson, David de la
Haye, James MacKintosh, Ali Vase。2006 作。Foot Stompin')
- *SANDY MELDRUM:Scottish Piano Fusion B
(RSAMD の卒業生で天才的ピアノ&ピアノ・アコーディオン奏者のデビュー作。スコ
ティッシュの名手達とアロパティックなセッションを繰り広げる一方で知らな曲で
のピアノのメロの美しいしみりとした泣き節も見事でまさに両刀
使い。2006 作。Greentrax)
- *DICK GAUGHAN:Redwood Cathedral (98 作。Greentrax) B
- *KATHRYN TICKELL+CORRINA HEWAT:The Sky Didn't Fall C
(ノサンパリアン・スモール・イズ&フィドルの K. Tickell と先進的スコティッシュ・ハーフ
の Corrina のデュエットはスコットランドとノサンパリアンの伝統回帰かつ女性
的優美さに包まれた音楽。二人は思い出の曲や馴染み深い曲を慈
しむように演奏し、唄う。2006 作。Park)
- *JAMES ROSS:James Ross B
(スコットランドの若手トラッド音楽家の優良養成学校 RSAMD 卒業でその後
アイルランドのリリック大学でピアノを学んだという James のスコットランド音楽
と少しのアイルランド音楽のリズムとメロディーを自由に操り、お遊び感覚と
夢想感覚を織り交ぜた水玉のように軽やかに弾む自由なピアノの音
楽。Produced by Brian McNeil。2006 作。Greentrax)
- *JIMMY HUTCHISON:Corachree B
(“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2000 作。Traditional Beares)
- *ALISON McMORLAND:Cloudberry Day B
(“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2000 作。Traditional Beares)
- *ELLEN MITCHELL:On Yonder Lea B
(“Scots Songs&Ballads”シリーズ。2002 作。Traditional Beares)
- *EILIDI MacKENZIE:Eideadh Na Sgeulachd (92 作。Temple) B
- *CHRISTINE PRIMROSE:Gun Sireadh, Gun Iarraidh B
(2001 作。Temple)
- *CLIAR:Grinn Grinn B
(ガリック・シンガーの親分 Arthur Cormack がリダーのガリック・シンキング・グ
ループの Cliar の 2005 作。Macmeanmna)
- *ARTHUR CORMACK:Ruith Na Gaoith (89 作。Temple) B
- *ARTHUR CORMACK:Nuair Bha Mi Og (92 作。Temple) B
- *STEVIE LAWRENCE:Standing Alone A
(Iron Horse のギター奏者のソロ。2002 作。Lochsore)
- *SILEAS:Harpbreakers B
(本作は日本で録音され、キングより 1990 年に発売された後にスコットラ
ンドで発売された Sileas の 3 枚目。「かもめの水兵さん」の原曲収録。
90 作。Lapwing)

- *WENDY STEWART: Standing Wave (2003 作。Greentrax) A
- *ALEX CAMPBELL: In Copenhagen B
(65 年録音。65/2002 作。Storyville)
- *EWAN MacCOLL: Solo Flight72/2000 作。Topic) A
- *BELLE STEWART: Queen Among The Heather A
(副題“Scots Traditional Songs And Ballads”。76 年録音。77/98 作。Greentrax)
- *BILLY CONNOLLY'S MUSICAL TOUR OF NEW ZEALAND ¥1500
(SSW の B. Connolly の如と想像しがちだが、実質的には Kate Rusby 作“Wandering Soul” [Kate がヴォーカル担当] 以外の作曲を手がけた John McCusker の如的色彩が濃いスコティッシュなトラッド・アルバム。演奏仲間はいつもの Andy Cutting, Ian Carr, Michael McGoldrick, Ewen Vernal, Andy Seward, Kris Drever に John Doyle, Phil Cunningham, James Mackintosh, Eddi Reader という揺ぎ無い顔ぶれ。全 17 曲。2004 作。Pure)
- *FIONA KENNEDY: Maiden Heaven~Special Edition A
(ケルティックなエンジェル・ヴォイスによる夢見心地スコティッシュ・トラッド。“Follow Me”のボーナス曲付。2004 作。Pixie)
- *IAIN MACKINNON: Best Seat In The House AD
(Lewis 島出身と思われる SSW の美しきフォーク・ロック。全曲本人又は Mike Merritt のナムバ―だが、立ち昇る音楽性は Runrig 又は Donnie Munro に通じるもの。この Runrig 風なガッツある潔いそれでいてスコットランド独特な愁いのある伸びやかな Iain のヴォーカルとフォーク・ロックは気持ちいいもの。2003 作。Croft)
- *SCOTTISH WOMEN A
(2002 年に行われた“Scottish Women”ツアーのライヴ音源をツアーの音楽ディレクターを務めた Brian McNeil が編集したもの。シンガーは Margaret Bennett, Elspeth Cowie, Ray Fisher, Annie Grace, Corrina Hewat, Mackenzie, Ishbel MacAskill, Mairi MacInnes, Maggie MacInnes, Anna Murray, Karine Polwart, Sheila Stewart, Sheena Wellington。全 16トラック。2004 作。Greentrax)
- *CATHERINE-ANN MacPHEE: Canan Nan Gaidheal A
(女性がロック・ソングの傑作。93 作。Greentrax)
- *SINGING IN THE STREET A
(副題“Scottish Children's Songs”。Alan Lomax 他が 1951~57 年の間にフィールド・レコーディングした 56 曲。デジタル・リマスター。2004 作。Rounder)
- *LASAIR DHE “Flame Of God” B
(ガールック語賛美歌をベースにしたガールック・ヴォーカル・アルバム。コンサート・ライヴ盤。Glar [Arthur Cormack, Mary Ann Kennedy, Ingrid Henderson, Maggie Macdonald, Bruce MacGregor, Chaz Stewart。唄も演奏も清々しい！]を中心に Kenna Campbell, Donnie Murdo のガールック・ソングの如きそれにガールック合唱団による聖なる歌声。より人々の祈りの唄に近い賛美歌集。時折日本のご詠歌風。2001 作。Macmeanmna)
- *WILLIAM JACKSON: Duan Albanach B
(Ossian のリターナーでスコティッシュ・ハーブの真髄を追求する屈指のハーブ奏者 William [Billy] Jackson の New は前半が自身のハーブとティン・ホイッスルの

- 演奏集で後半は2002年のCeltic Connectionsのライヴ。2003作。Mill)
- *WILLIAM JACKSON: Celtic Chillout A
(とりわけケルティックな優美さに充ちたハーブ曲を選び抜いた15曲入編集CD。ケルティックな夢心地...2002作。EMI)
 - *ANGUS LYON&RUARIDH CAMPBELL: Simple Tricks B
(共にチャンピオン奏者{Angusはアコとピアノ、Ruaridhはフィドルとヴァイオリン}によるスコティッシュ味覚の憎い憎いデュエットで唸らせ、飲ばせる。古いスコティッシュの香りをキープしつつも演奏には若さと勢いがある。老若共に楽しめる見事のデュエットだ。w. Steve Lawrence, Duncan Lyall, Alan Train, etc. 2003作。Lochshore)
 - *ISHBEL MacASKILL: Essentially Ishbel B
(Lewis 島出身のヴァイオリン・ガール・シンガーのIshbelの4枚目は深くスコットランドの伝承歌に根ざした豊かで美しいガール・ソング集。歌詞原詩&歌詞英訳付。2000作。Ishbel MacAskill)
 - *SHOORMAL: Migrant B
(Joyce McDill, Freda Leask, Donna Smithそれぞれのシンガーのヴォーカルがフィーチャーされたシエラランドのフォーク・グループ。2003作。Greentrax)
 - *THE LAGGAN: I Am The Common Man B
(ヴァイオリン・トラッド・シンガーのArthur Johnstoneがヴォーカルの4人組。歌に真っ直ぐなフォーク〜トラッド。2002作。Lochshore)
 - *LET SCOTLAND FLOURISH A
(Foot Stompin'所属アーティストの編集CD。全14曲。Cantrip, Liz Doherty, Corrina Hewat...2003作。Foot Stompin')
 - *ANDY M. STEWART・MANUS LUNNY: Dublin Lady a
(87作。Green Linnet)
 - *DOMHNALL R MACASGAILL: Gloir An Uain C
(CD-R。副題"Traditional Gaelic Hymns&Psalms"。ガール・リックによるほぼ無伴奏の祈りの唄。朗々とした唄声は澄んだ空気をも震わす。2曲の合唱はご詠歌を思い出した...2001作。Beracah)
 - *JANET RUSSELL&CHRISTINE KYDD: Dancin' Chantain' B
(名盤。94作。Greentrax)
 - *JIM REID: The Better O' A Sang B
(元Foundry Bar Bandでヴァイオリン・トラッド・シンガー、J. Reidのトラッドを中心にした琴線に触れるスコティッシュ・ソング集。全19曲。w. Stuart Duncan, Scott Carnegie. 96作。Greylag Music)
 - *JIM REID: Emfae Dundee B
(ギター、バングヨー、コンサーティーナ、エレクトロニック・パイプス等全てJ. Reidの演奏で、ダンティーの町ことを唄ったもの。朗々とある時はコミカルに...Jimのワンマン・バンド"The Tha' Ui Dae Ceilidh Band"が大活躍。2001作。Greylag Music)
 - *JENNIFER&HAZEL WRIGLEY: Dancing Fingers A
(オークニー島のJennifer&Hazel姉妹のこれが1枚目。91作。Attic)
 - *JENNIFER&HAZEL WRIGLEY: The Watch Stone (2枚目。Attic) A
 - *BIRLIN' FIDDLES B
(マンバ〜はJennifer Wrigley, Alan Henderson, Julia Legge, Sandy Wright。Foot Stompin')

- *THE ORKNEY SESSIONS A
 ("From the Ayre Hotel"。毎年5月下旬に開かれている「オーケー・フォーク・フェス」のメイン会場になる Ayre Hotel。その枠に集うトラッド・ミュージシャン達によるセッション・ライヴ。全40曲。アイリッシュ・パブならぬオーケー・パブの熱気。95作。Attic)
- *THE EASY CLUB:Chance Or Design B
 (85年作の2枚目。オランダ Frea)
- *BOGHALL&BATHGATE CALEDONIA PIPE BAND
 : Inspired In Belfast(2001作。Monach) A
- *ALBERTA CALEDONIA PIPE BAND:They Took Their Leave A
 (2001作。Monach)
- *FRED MORRISON:The Sound Of The Sun(Lochshore) A
- *THE GAUGERS:No More Forever C
 (ヴェテラン・トラッド・バンド"Gaugers"の4枚目。ライヴ等彼ら録音曲の中でも選りすぐりの録音曲を編集し、故 Peter Hall に捧げたアルバム。2000作。Sleepytown)
- *ANNE MARTIN:Co. . ? A
 (副題"Gaelic Song from the Isle of Skye"。人気盤。w. Fiona MacKenzie, Sandra MacKay, Iain MacDonald, Malcolm Jones, Ingrid Henderson, Iain MacFarlane, etc. 98作。Whitewave)
- *ELSPETH COWIE:Naked Voice A
 (Chantan, Seannachie のヴォーカルで"Complete Robert Burns"でもお馴染みのトラッド・シング -の正にタイトル通りの化粧なしのトラッド集{1曲 S. Denny 作"Fotheringay"を含む}。歌詞&解説付。Scotfolk)
- *WORLD LIBRARY OF FOLK&PRIMITIVE MUSIC "Scotland" B
 (Compiled&Edited by Alan Lomax. 98作。Rounder)
- *SHEILA STEWART:From The Heart Of The Tradition A
 (スコットランドの偉大なトラッド・エリク・シング -故 Bella Stewart の娘 Sheila {1937年生まれ}のハリのある孤高のシング。全曲無伴奏。"Queen among the Heather", "Blackwaterside", "Glencoe", "The Nobleman's Wedding"等トラッドの重要曲全20曲。詳細解説付。2000作。Topic)
- *ANNA MURRAY:Out Of The Blue(94作。Lochshore) A
- *ANNA MURRAY:Into Indigo(96作。Lochshore) A
- *ANNA MURRAY:Tri Nithlean(99作。Lochshore) A
- *CALANAIS ¥1680
 (ルイス島の古代巨石保存を目的に制作された編集CD。Sileas, Dougie Maclean, Phil Cunningham, Anna Murray, Blair Douglas, Martin Taylor, Mary Smith, Ian Stephen, etc. 95作。An Lannatair)
- *ROBIN LAING:Imaginary Lines A
 (エディンバラ出身のフォーク・シング -R. Laing の4th。w. Ammy Geddes, Brian McAlpine, Wendy Wethery, etc. 99作。Greentrax)
- *JEAN REDPATH:Think Of Me A
 (心の奥底にまで響くスコティッシュ・ソング集だ。w. Sue Richards {ハーブ}、Abby Newton {チェロ}、Jay Unger {アイトル}、Jacqueline Schwab {ピアノ}。全16曲。歌詞&曲目解説付。98作。Jean Redpath)

- *ROBIN WILLIAMSON: Ring Dance A
(Incredibleファン好みの会心の作。98作。Pig's Whisker)
- *ROBIN WILLIAMSON: Memories (7曲入。97作。Pig's Whisker) ¥525
- *DANNY KYLE: Heroes And Soft Targets A
(人間味漂う中年フォーク・シンガー。ギター&パノピオの弾き語りでもりとさせる。SSW調からトラッド調まで、マイペースで気持ちいい。98作。Iona)
- *CEOL NA PIOBA-PIOB MHOR B
(副題“A Concert of Piobaireachd from the 1999 Edinburgh International Festival”。2000作。Greentrax)
- *THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 1 1998 A
(Nonarch)
- *THE WORLD PIPE BAND CHAMPIONSHIPS VOLUME 2 1998 A
(Nonarch)
- *SOUTHERN GAEL “Dalewood Auckland&District Pipe Band” A
(ニューゼーランドのパイプ・バンド・チャンピオン。Nonarch)
- *NORTHERN LIGHTS “Live From The Lemon Tree” A
(Old Blind Dog, Tony McManus, Tannas, Anna Murray, Iron Horse, Drop The Box, Conterach, Lorelei によるライブ。1996作。Lochshore)

[CD/USA {トラッド、アパッチアン他}]

- *KRONOS QUARTET: Folk Songs B
(2014年、Nonesuch 創設 50周年記念に企画された“Folk Songs”と題された Kronos Quartet のコンサートで出演した四人のシンガー、Sam Amidon {二曲}、Olivia Chaney {二曲}、Rhiannon Giddens {三曲}、Natalie Merchant {二曲} をシンガーに迎えて収録された記念アルバム。Kronos Quartet のみでの演奏曲一曲と Rhiannon Giddens 作のラスト曲“Lullaby”以外は全曲伝統歌。無国籍音楽的で効果音的にバックに徹した米国の Kronos Quartet の伴奏でうたわれる各シンガーによる「フォーク・ソング」は、闇に咲いた蓮の花のよう。それぞれがそれぞれに個性的で魅力的だが、初耳の英国フォーク・シンガーの Olivia Chaney の英国トラッド・スタイルの「フォーク・ソング」と伝説によるケベック・トラッド・スタイルの「フォーク・ソング」が素晴らしい。皆さん、唄のスタイルは異なるが「フォーク・ソング」がテーマだからか、純粋な気持ちが伝わってくる唄ばかりで、心和む。2017作。Nonesuch)
- *CLASSIC ENGLISH AND SCOTTISH BALLADS A
(本作は「チャイルド・バラッド」として知られる Francis James Child のバラッドのコレクションの中からイングランドとスコットランドのバラッド集で、Smithsonian Folkways の音源から厳選した 21 曲を収録した編集盤。うたうは、Ewan MacColl, Jean Ritchie, Pete Seeger, Mike Seeger, Margaret MacArthur, Paul Clayton, New City Ramblers, Lead Belly 等々、Ewan MacColl 以外は米国のフォーク・シンガーによるバラッドは、イングランド & スコットランド音源のバラッドの味わいとは異なって、唄に生活感があるというか、音楽がまるっこくて、米国っぽいのが面白い。P40 のブックレットは、一旦ケースから取り出したら、ケースに収

- めるのが大変なくらい分厚い。2017 作。Smithsonian Folkways)
- *SONGS OF CHRISTMAS FROM THE ALAN LOMAX COLLECTIONS D
 (お宝発掘。Alan Lomax が英国、アイルランド、イタリア、スペイン、
 米国南部、カリブ海地域で収録したクリスマス音楽と宗教音楽。
 Bob&Ron Cooper, Ewan MacColl, Seamus Ennis, Sacred Harp
 Singers Georgia Sea Island Singers 他による 31 曲。全在庫品ラ
 ップ包装なし。1998 作。Rounder)
- *MR. MARTIN SIMPSON & MR. DOM FLEMONS
 : A Selection Of Ever Popular Favourites A
 (2015 年の秋に Martin Simpson と Carolina Chocolate Drops の創
 設メンバーでアメリカン・ソングスターの Dom Flemons がデュオ
 を組んで、コンサートを行ったときのライブ。曲目は米国の白人
 黒人の枠を超えた古き良き音楽。Martin ファンが聴けば、Martin
 の米国趣味の音楽に大衆性が増したように聞こえて、面白いだ
 ろうし、Dom Flemons のファンが聴けば、米国庶民の古き良き娛
 楽音楽に品性が備わったように感じられて、新鮮な印象を持つ
 だろう。米英の個性派が混ざり合って、ある種異種交配的な面白
 さもある米国の古き大衆音楽の世界だ。2016 作。Fledg'ling)
- *DANA LYN & KYLE SANNA: The Great Arc A
 (Dana Lyn [フィドル、ヴァイオリン] と Kyle Sanna [ギター] のアイルランド系で
 はない二人の才能ある演奏家兼作曲家による耳に新鮮なアイリ
 ッシュ。彼らのアイリッシュのベースになる音楽は、Martin
 Hayes & Dennis Cahill。Dana は Martin Hayes スタイルのフィド
 ルを感性優先で膨らませ、Kyle はアイリッシュにとらわれない独
 自のギター演奏で飾る。Dana&Kyle の Martin&Dennis+α の独創性
 を加えたアイリッシュ風音楽もすこぶる魅力的。ゲスト: Mick
 McAuley。2015 作。Dana Lyn&Kyle Sanna)
- *OLD SALT: Up River Overseas A
 (Old Salt は米国人一名、スコットランド人一名、ベルギー人三名、
 スウェーデン人一名で二姫四太郎の六人組。核になる音楽は米
 国人シンガーでバンジョーとフィドル担当の Dan Wall の音楽性、そ
 れはアパラチアン音楽とオールドタイム・ミュージック。Dan
 Wall 自身がその系統のシンガーとして、ミュージシャンとして秀
 でた才能の持ち主で、他国の音楽仲間の手を借りて、その系統の
 音楽の最前線のハイブリッドな音楽を創作していて、お見事。加
 えて、ヨーロッパの古風なジブシー音楽のサウンドもご披露。
 2016 作。Appel)
- *LINDSAY STRAW: My Mind From Love Being Free A
 (ボストンのアイリッシュ・バンドの Ivy Leaf のメンバーで、シン
 ガーでギター&ブズーキ奏者の Lindsay Straw 嬢のソロ。本作は
 この約 10 年の間に彼女が熱中して来た英国とアイルランドの伝
 統歌をギターやブズーキの弾き語りであつたもので、ブリティ
 ッシュ・フォーク風の芳香と清涼さ放つサウンドを伴って、彼女
 の朝露のように清々しく、まっすぐな唄たちは、心の中にすっと
 しみ通る。まるで、彼女が初めて伝統歌と出逢ったときの初々し
 い感動が、そのまま表現されたかのように、一曲一曲が芯が強く、

- 清く、美しい。簡易紙ジャケット 2015 作。Lindsay Straw)
- *GALLOWGLASSES:Mortar Bricks And Lime A
 (二枚目が人気の米国サンフランシスコの四人組ケルティック・トラッド・バンド
 "Gallowglasses"の一枚目。メンバーは、Lee White {ヴォーカル、フィドル}、
 Donovan Ryan {ヴォーカル、ギター}、Michael McNelly {ベース、マンドリン}
 そして Molly's Revenge の Mark Boronkay {ギター、マンドリン}。こちら
 一枚目は Donovan Ryan with Gallowglasses 的内容で、ヴォーカルの
 Donovan の音楽性、それは Andy Irvine の音楽性と重なり合う。
 ベースをフィーチャーしたサウンドといい、Andy 風のシンギングといい、アリス
 シュとフォークの両要素をバランスよくブレンドされていて、円やかに落ち
 着いた味わいのアリスシュ風トラッド/フォークを醸成している。最後の
 "Paddy's Green Shamrock Shore"は Paul Brady 風ですがね。CD 収
 納型簡易紙ジャケット。2013 作。Gallowglasses)
- *MOLLY'S REVENGE:The Western Shore a
 (John Doyle がプロデュースの本格的ケルティック・ミュージック・アルバム。アンサンブルの
 醍醐味と味わいはアイルランドやスコットランドのトップ・バンドの風格。ダンス曲
 を中心とした演奏のみならず、2 曲でヴォーカルを取る Moira Smiley の
 しっかりとて凜としたシンギングが素晴らしい。Paul Brady の名唱
 でお馴染みの "I Am A Youth Included To Ramble"はトラッド・ファンを
 骨抜きにする。北米に凄いバンド。2008 作。Molri Music)
- *ALICE GERRARD:Bittersweet A
 (かれこれ 40 年以上にわたって、アメリカン・ルーツ音楽の第一線で活動して
 きた Alice の 10 年ぶりの本作は、全曲自作曲の深い味わいのある素
 晴らしい SSW/フォーク・アルバム。体の中から湧き上がるようなリラックスした
 唄は、いぶし銀のアメリカン・ルーツ・サウンドを伴って、ある時は心に沁み、ま
 たある時は心を和らげ、またある時は心をほがらかにさせる。いぶ
 し銀のアメリカン・ルーツ音楽の名品だ。w. Laurie Lewis, Stuart Duncan,
 Bob Ickes, Bryan Sutton, Todd Phillips, Tom Rozum, etc.
 2013 作。Spruce And Maple Music)
- *SARA GREY:Down In Old Dolores A
 (一曲目の "Bright Sunny South" 米国古謡の世界にどっぷり。ハン
 ジョーを弾きながらうたう、この素朴な古謡が何とも渋くて良い味
 わいなのだ。Sara が長年米国の古謡を収集し続けて生まれた素晴
 らしき米国古謡の世界。w. Kieron Means {ギター、ヴォーカル}、Ben Paley
 {フィドル}。曲目解説付。全 15 曲。2014 作。Fellside)
- *MINNIE & THE ILLYWHACKERS:Make Me Yours A
 (アイルランドからご機嫌なオールト・アメリカン・ミュージック "ショー" バンドが登場。
 ユニークなのはウクレレがフィーチャーされていて、古臭いジャズ等でスウィングし
 ていること。ウクレレが音頭を取る中、古っぽいジャズやカントリーやブルース
 やポピュラー・ミュージック等がほどよく混ざり合った文字通りのグッドタ
 イム・ミュージック。サウンドのすべてがリズムが楽しく躍るように心地よい。
 古っぽい音楽の心地よさも最高だが、シンガーの Minnie の唄はセピア色
 の古色を帯びつつも、風に乗るような軽やかな歌声でうっとり。
 2013 作。Rualla)
- *WILLIAM PINT & FELICIA DALE:Blue Divide A
 (Whiskey Is The Life Of Man"で華々しく幕開けする W. Pint {ヴォー

ーカ、ギター、マンドリン}&F. Dale {ヴォーカル、ハーモニカ、ギター、フィドル、ホイッスル}の
新譜は、海の生活と海の唄を愛する二人の気持ちが上気した唄と、
そんな唄と一体化したケルティック・ロックにぼつちりと生き写しされている。
この喜びに満ちた唄と音楽はもう滅茶苦茶最高。Williamのヴォーカ
ルなんぞは、舌がもつれるのでは？と心配になるほど、うたいま
くっている。音楽もノリがよくって、踊りだしたくなってしまうほ
ど。海好きの音楽ファンのみならず、全トラッド・ファンは上昇気流を巻き起
こす重層的ケルティック・サウンドに血わき肉おどるに違いない。夏はこれ
を浴びて、海水浴気分！2013作。Waterbug)

- *PATRICK BALL: The Wood Of Morois B
(P. Ball が爪弾く金属弦ハープによるほぼ「ケルト」回帰の本作は、音色の
一音一音が細やかで美しく、それぞれの地域の音楽の特性を擁護
しつつ、優麗な音色で奏でたこの上なく美しいケルティック・ハープ・ミュー
ジックアルバムとして結実している。2010作。Celestial Harmony)
- *HANNEKE CASSEL: For Reasons Unseen A
(ホーストン生まれの米国スコティッシュ・フィドル・チャンピオンでアイルッシュ・グループの
Cathie Ryan Bandでも活動するスコティッシュ・フィドル+アイルッシュ・フィドル+オ
リジナリティーで一步先を行く美人フィドラーの華のあるケルティック・フィドル・ミュー
ジック。w. Alasdair Fraser, Natalie Haas, Rushad Eggleston, Casey
Driessen, Brittany Haas, Keith Murphy, Aoife O' Donovan。2009作。
Hanneke Cassel)
- *EUROPEAN WORLD OF BLUEGRASS 2006 A
(ヨーロッパと北米のブルーグラス・グループの編集盤。全25曲。2006作。オランダ
Strictly Country)
- *ROBIN & LINDA WILLIAMS: Live In Holland A
(92作。オランダ Strictly Country)
- *SKYLAND: Moon Over The Water (2003作。オランダ Strictly Country)
- *CONNIE DOVER: The Border Of Heaven (2000作。Taylor Park) A
- *RACHEL HARRINGTON: The Bootlegge's Daughter A
(2008年作の"City Of Refuge"が好評のRachelの2007年作のデビュー
作。Rachelは不思議な物語や彼女が住むオレゴン周辺の田舎生活を送る彼女の個人的な唄などを古い伝承歌を口づさむように淡々と
唄う。音楽性は様々だが、自身の足場に立脚し、時代を縦に眺めた
田舎娘らしい天真爛漫な音楽が楽しい。2007作。Skinnydennis)
- *KELLY CARMICHAEL: Queen Fareena A
(古き良きアメリカン・ミュージックの世界へと誘うくすぐったいほど馬鹿馬
鹿しく愉快的な音楽。ハンゾーやギターを爪弾きうたうKellyの頭の中
はラガタイムや古いデルタ・ブルースやストリング・バンドのブルースやデイクシー等が
鳴り響いているに違いない。まるで18世紀か19世紀のミシシッピ川を
遊覧する豪華客船の娯楽バンド。古き良きアメリカン・ミュージックの最高
"お笑い"傑作。2008作。Dogstreet)
- *TODD MENTON: Where Will You Land a
(元Boiled In LeadのT. Mentonの2003年作。アメリカン・フォークであろうが、
ブリティッシュ・トラッドであろうが、アイルッシュであろうが、シー・ジャンプであろう
が、向かう姿勢が根源的。アパラチアの山奥に引き込んだと思いきや
今度はパワフルなフォーク・ロックで歓喜させる。2003作。New Folk)

- *LEHTO & WRIGHT: The Thrashing Machine a
 (Lehto&Wright の二人組。アコースティックとエレクトリックが混在しているが、沸き上がる香りはヴァーカを含めて気高いブリッシュ・トラッド。Richard Thompson や Dick Gaughan や Christy Moore のレパートリーやトラッドを毅然とカッコ良く演唱する。Lehto はエレキギターもカッコイイがアコースティックギターも素晴らしい。完璧に二人の思い入れの強い憧れのブリッシュ・トラッド的美意識で律せられている。2007 作。New Folk)
- *LAURA MacKENZIE: Evidence A
 (アイルッシュ・フルトを中心に各種ヴァーカを演奏し、ギターを含む唄もうたう Laura の本作はアイルッシュを中心にスコティッシュそしてブルージュ等ケルト圏の唄と音楽を共演者をとっかえひっかえ演唱する。共演者は Altan の Daithi Sproule {ギター、ヴァーカ}, Dean Magraw {ギター}, Andrea Stern {ハープ}, Dick Ree {アコ}, John Wright {ベース}, Sean Egan {クラリネット}。2003 作。New Folk)
- *GOLDEN BOUGH: Far From Home (Golden Bough Music) A
 *GOLDEN BOUGH: Live B
 (25 周年記念ライブ。全 14 トラック。2006 作。ARC Music)
- *JODY MARSHALL: Cottage In The Glen A
 (Magical Strings のような身を清められるようなケルティック・アンサンブルからダブミックスなケルティック・アンサンブル。Jody の H. ダルマーはうたいおどる。共演者は Grace Griffith, Amy White, Al Petteway, Karen Ashbrook, Zan MacLeod, etc. 2007 作。Maggie's Music)
- *JEAN RITCHIE: Field Trip A
 (1954 年作の再発 CD。全 21 曲。54/2001 作。Greenhays)
- *SYLVIA HEROLD&EUPHONIA: Lovely Nancy A
 (Wake The Dead のヴァーカでヴァーテラン・トラッド・シンガーの 3 枚目。Euphonia のメンバー 3 人の内二人は Wake The Dead のメンバーで Wake のホースの Danny Carnahan も数曲でデュエットでお手伝い Sylvia の姿勢はよりシンガーとして伝承歌の本質に迫る真摯なもので一曲一曲が心に迫るもの。2005 作。S. Herold)
- *MAGICAL STRINGS: Where Dragons Dance ¥500
 (結成 25 周年の Magical Strings の本作は彼等の集大成的であると同時に新たな地平を予感させる音楽。Grainne Hambly や Liam O'Flynn や Mary Bergin 等のアイルッシュ・ダンス曲やブルージュ島のアイルッシュ・エア等アイルッシュをベースにマダガスカルヴァーカをフィーチャーした異国情緒な音楽に加え、中国風味のタイトル曲とモンゴルの曲"Gandii Mod"等も。CD-ROM 機能では"25 Years of Family, Friends, Loving&Sharing"と題が付され、アイルランドの島でのスナップ写真を中心に故 Derek Bell との写真や家族の写真が閲覧できる。2004 作。Alula)
- *MAGICAL STRINGS: Legend Of Inishcahey A
 (西アイルランドの音楽にインスピレーションを得た Magical 独特なケルティック・ミュージックの世界。99 作。Magic Hill Music)
- *KEN KOLODNER: Journey To The Heartland A
 (ヴァーテラン・ハンマー・ダルマー奏者によるアパラチア&オールタイムからケック&ケー・ブルトンそしてスコットランドまで姉妹音楽の旅。自分のルーツの視点から姉妹音楽に全身全霊でアプローチしてるのが偉い。w. Robin Bullock,

- Laura Risk, Elke Baker, Paddy League. 2005 作。Maggie's Music)
- *DEBRA COWAN: The Long Grey Line B
 (彼女のシンギングは Ray Fisher, Gordeanna McCulloch, Christine Kydd 仕込み。主にイングランド、スコットランド、アイルランドのトラッドを澄んだ美声と情緒あるアコースティック・サウンドで酔わせる。2001 作。Debra Cowan)
- *BOILED IN LEAD: Alloy ¥2980
 (希少録音曲を含む Boiled In Lead の 15 年の歴史をまとめた 1000 枚限定ハード・ボックス入 3 枚組 CD。内 1 枚はライブ。全 48 曲。ボックスに 1000 枚の内の何枚目かの番号が打たれている。98 作。Omnium)

[DVD/CANADA] NTSC all regions

- ※国内製 DVD プレーヤーで再生可能
- *ASHLEY MacISAAC: Live At The Rehearsal Hall B
 (Ashley MacIsaac&band によるスタンフォード。ロック・バンドを従えての血沸き肉おどるライブ。圧巻。2002 年 5 月収録。57 分。Linus)

[CD+DVD/CANADA (Celtic)] PAL all regions

- *LOREENA McKENNITT: Nights From The Alhambra ¥2980
 (2006 年 9 月スペインのアルハンブラの宮殿でのライブ。2 枚組 CD と 1 DVD のセット。CD は DVD のオーディオ版。全 18 トラックで DVD は 140 分。w. Nigel Eaton, Brian Hughes, Steafan Hanningan, Hugh Marsh, Panos Dimtrakopoulos, Sokratis Sinopoulos, Haig Yarzdzian, etc. 2007 作。Quinlan Road)

[CD/CANADA (トラッド他)]

- *FASTA: Un Canadien Errant B
 (カナダの“Traditional Singer of the Year”賞受賞のケベックの女性トラッド・シンガーでフィドラーの Sophie Lavoie とケベックのギタリストの André Marchand とコネマラ出身のアイルランド人イリアン・パイプス & バンジョー奏者の Fiachra O' Regan のトリオ。ケベックのトラッドとアイリッシュが混ざり合った音楽の意外に新鮮で爽快なこと！Sophie のシンギングとフィドルはケベック・トラッドの伝統の味わいを披露しつつも、音楽はアイリッシュのノリを混ぜ合わせていて、凄く魅力的で心に響いて、楽しめる音楽。2016 作。Fasta)
- *TICKLE HARBOUR: Battery Included A
 (Tickle Harbour の創設者は Red Island の創設者でギタリストの Don Walsh で、Tickle Harbour でヴォーカル、ギター、バウロン、コンサティナ他を担当する Fergus O' Byrne は元 Ryan's Fancy。二人を除いた他のメンバーは Vonnie Barron (ヴォーカル)、Patrick Moran (フィドル)、Gerry Strong (ティン・ホイッスル、フルート)、Francesca Swann (チェロ)。驚くのは曲の多数を占める各種ジャンル曲の演奏の素晴らしさだ。Chieftainスタイルだが、演奏力が卓越している上に、音楽のエネルギーはパブ・セッションのセッションの高さをキープしている。ゲスト: Seamus Creagh, Paddy Keenan 他。1998 年。Singsong)
- *LE VENT DU NORD: Tetu B

(ケックのトラッド・バンドの Le Vent Du Nord の通算八枚目に当たる新作。これまでもそうだったが、Le Vent は 4 人編成〔楽器編成はギター、ブズーキ、ハーモニカ、ギター、アコ、ベース、ボンバルド、フィドル、マンドリン他〕で固め、ケック・トラッドのルーツの音楽を固持し、ケック・トラッド特有のダンス音楽のリズムを最大限に生かし、活気ある今日のケック・トラッドを創作する。ダンスのリズムに乗ってうたわれる唄の数々はケック・トラッドの独特な味わいを発散する。2015 作。Borealis)

- *WENDY MacISAAC:Off the Floor C
 (ケープ・ブレトンのフィドルの名手の Wendy MacIsaac のおよそ 10 年ぶりの新作。Tracey Dares MacNeill [ピアノ] と Patrick Gillis [ギター] を誘って、ライブ録音盤を出そうと録音を始めたのが、2005 年。この年に録音したのが最初の 5 トラック。そしてそれから 9 年後に二人を誘ってまた録音。滅茶苦茶凄い。皆さん、カナダの東の端まで行かずとも、ケープ・ブレトンの音楽が疑似体験できますよ。2014 作。Wendy MacIsaac)
- *MARY JANE LAMOND:Suas E! (1997 作。カナダ A&M) A
- *LE REVE DU DIABLE:Delires Et Des Reels A
 (79 年作の 3 枚目。彼等のケック・トラッド色濃厚な土臭い演唱は今聴いても鮮烈。ケック・トラッドの模範。79 作。Tamanoir)
- *LOREENA McKENNITT:Elemental A
 (リマスター・マルチメディア機能付 CD と DVD の 2 枚組。限定盤。85/2004 作。Quinlan Road)
- *LOREENA McKENNITT:Parallel Dreams A
 (リマスター・マルチメディア機能付 CD と DVD の 2 枚組。限定盤。89/2004 作。Quinlan Road)
- *LOREENA McKENNITT:The Visit A
 (リマスター・マルチメディア機能付 CD と DVD の 2 枚組。限定盤。91/2004 作。Quinlan Road)
- ※DVD は国内プレーヤー再生可能。
- *LOREENA McKENNITT:Winter Garden a
 (5 曲入 CD シングル。95 作。Quinlan Road)
- *ANDREA CAPEZZUOLI E COMPAGNIA:Suonato Coi Piedi! C
 (イタリアのケック・トラッド・バンド。La Bottine Souriante や Le Vent Du Nord とも交流のある本格派だ。2008 作。FolkClub Ethnosuoni)
- *THE BARRA MacNEILS:Christmas Album A
 (軽快なジグで幕開けする MacNeils 兄妹バンドによるクリスマス・アルバムはアイリッシュ〜ケープ・ブレトンの伝統音楽色を色濃く打ち出しつつ、クリスマスに家族兄弟で祝う優しさと楽しさ溢れるもの。ゲール語のアカペラやステップ・ダンスも有り。クリスマスにケープ・ブレトンの伝統音楽一家の楽しいクリスマス・ケリーに迷い込んだ感触。2006 作。Fontana)
- *THE BARRA MacNEILS:Rock In The Stream(89 作。PolyGram) A
- *THE BARRA MacNEILS:Closer To Paradise(93 作。PolyGram) A
- *THE BARRA MacNEILS:The Traditional Album A
 (94 作。PolyGram)
- *THE BARRA MacNEILS:The Question(95 作。PolyGram) A
- *THE BARRA MacNEILS:Racket In The Attic A

(2000 作。Barratone)

- *NATALIE MacMASTER:Fit As A Fiddle B
(カナダ盤原盤にて入荷。93 作。カナダ Warner)
- *NATALIE MacMASTER:My Roots Are Showing B
(カナダ盤原盤。98 作。カナダ Warner)
- *NATALIE MacMASTER:In My Hands B
(カナダ盤原盤。99 作。カナダ Warner)
- *NATALIE MacMASTER:No Boundaries (96 作。WEA) B
- *NATALIE MacMASTER:Blueprint (2003 作。Rounder) A
- *PAMELA MORGAN:On A Wing And A Prayer B
(ニューファントランドのトラッド・ロック・バンドのヴォーカル、Pamela のたおやかなソロ。うっとり…。"Blackwater Side"を含む 11 曲。96 作。A&M)
- *FIGGY DUFF:Weather Out The Storm(3rd。宝物。Amber Music) A
- *FIGGY DUFF:Down Stream(4th。Amber Music) A
(フェアポート・スタイルのニューファントランドのフォーク・ロック・バンドの老舗)
- *KATE AND ANNA McGARRIGLE
:The McGarrigle Christmas Hour A
(Kate&Anna のクリスマス・アルバム。Rufus&Martha Wainwright もほとんどのナムパ〜でヴォーカル参加。今昔家族の写真を眺めながら聴こえてくる音楽は Kate&Anna の家庭的だが、ひと味もふた味も違うクリスマス音楽。2005 作。Nonesuch)
- *ASHLEY MacISAAC:Close To The Floor (デビュー作。92 作。A&M) A
- *ASHLEY MacISAAC:Hi How Are You Today? A
(95 作。Ancient Music)
- *ASHLEY MacISAAC:Fine Thank You Very Much A
(96 作。Ancient Music)
- *ASHLEY MacISAAC:Ashley MacIsaac B
(神懸り。絶品。w. Mary Jane Lamond, Lisa MacIsaac, etc. 2002 作。Decca)
- *ASHLEY MacISAAC:Live At The Savoy B
(ケープ・ブレトン・フィドル・レーン回帰の Ashley のすっぴんフィドル・ライブ。入魂のケープ・ブレトン・フィドル! 2004 作。Linus)
- *STAN ROGERS:From Coffee House To Concert Hall B
(未発表ライブ集。全 20 曲。99 作。Fogarty's Cove)
- *HART-ROUGE:Jai Fait Un Reve B
(フレンチ・カナディアン・トラッド・バンドの Hart-Rouge の本作ハイテクの機械的な、あるいはロックっぽい、あるいはアフリカンっぽい味付けで挑発的。2001 作。Universal)
- *RAWLINS CROSS:Reel'n' Roll (93 作。Ground Swell) A
- *RAWLINS CROSS:Living River (96 作。Ground Swell) A
- *RAWLINS CROSS:Celtic Instrumentals (97 作。Ground Swell) A
- *DAVE MacISAAC:Nimble Fingers C
(D. MacIsaac は知る人ぞ知るケープ・ブレトンのケルティック・ロック・ギターの名手。得意のフェンダーのエレクトリック・ギターのケルティック・ロックとアコースティック・ギター、フィドル、マントリン、トブロー等によるアコースティック・ケルティック・トラッドの両刀使いで唸らせる。全 19 曲。95 作。Pickin' Productions)

- *RITA&MARY RANKIN:Lantern Burn(テビユー作。宝物。Ingold) C
 *RON HYNES:Face To The Gale A
 (Mary Black の名唱で有名な“Sonny’s Dream”の作者。“Sonny’s Dream”も収録のケルティック・トラッド系 SSW の 97 年作。w. Pamela Morgan, etc. 97 作。EMI)
 *ANITA BEST:Crosshanded A
 (民謡研究家でトラッド・シンガー、Anita 女史の無伴奏ソロ。ニューファンドランドの伝承歌集。w. Pamela Morgan。曲目解説付。97 作。Amber)
 *YVES LAMBERT:Les Vacances De Monsieur Lambert A
 (La Bottine Souriante のリート・シンガー&ボックス奏者 Yves の懐の深いソロ。傑作。98 作。Mille-Pattes)
 *LES BATINSES:Tripotages(2000 作。Mille-Pattes) A
 *LES REJOUISSANCES C
 (2 枚組 CD。70 年代活躍したケベックのトラッド・バンド/フォーク・ミュージシャンによるライブ。Le Reve Du Diable, Alain Lamontagne[彼は約 20 年前当時八王子の姉妹リンを訪れたことがある、ハーモニカを持って]、Quebreizh, Michael Garneau, etc. 77 録音。Tamanoir)

[CD/AUSTRALIA]

- *MARTYN WYNDHAM-READ:Undiscovered Australia C
 (1996 作。Musica Pangaea)
 *MARTYN WYNDHAM-READ & NO MAN’S BAND:Back To You C
 (2010 作。Wynding Road)
 *MARTYN WYNDHAM-READ:Starlit Skies(2012 作。Wynding Road) C
 *KATE BURKE&RUTH HAZLETON:Swapping Seasons B
 (オーストラリアの女性ヴォーカル・デュオの珠玉の 3 枚目。2002 作。Kate&Ruth)
 *KATE BURKE & RUTH HAZLETON:Summer’s Lonesome Tale B
 (音楽的にはアイランドとイギリス系フォーク・ミュージックとアメリカのオールド・タイム・ミュージックの要素がスムーズにブレンドされた Kate&Ruth の 2007 作。Paul Brady の名唱でお馴染みの“I Am A Youth That’s Inclined To Ramble”や“Barbara Allen”や“The Cookoo”等の伝承歌他全 11 曲。どれも唄の背景の土地のフォーク・ミュージックの土臭さを伴って Kate&Ruth 流にそれぞれ耳に心地よくかつ新鮮。ゲスト:Andy Irvine, Bruce Molsky。2007 作。Tradsville)
 *JEFF LANG:Half Seas Over A
 (オーストラリアギター奏者で SSW の J. Lang の本作はアメリカのフォークやブルースの根源へと一心を傾けた謙虚な傑作。集中力ある細心のギターの絶妙さにも心奪われるが、Jeff の物語を語るような唄の間と空気感が素晴らしい。ギターの音も唄も心に沁み渡る。2008 作。Furry)
 *PAUL TURNER:Clear Blue A
 (第一印象は Nick Drake っぽい。Paul の唄は徹底して美しい。光を求めて旅するような唄の世界で、アコースティック・ギターとエレキ・ギターの音色も調べも、彼の唄に相応しく、輝いている。星が一本の木にいっぱい生っているジャケットというジャケット意匠そのままの夢見心地の唄と音楽。至福。2008 作。White Lotus)

